National

温水洗浄組込型便器

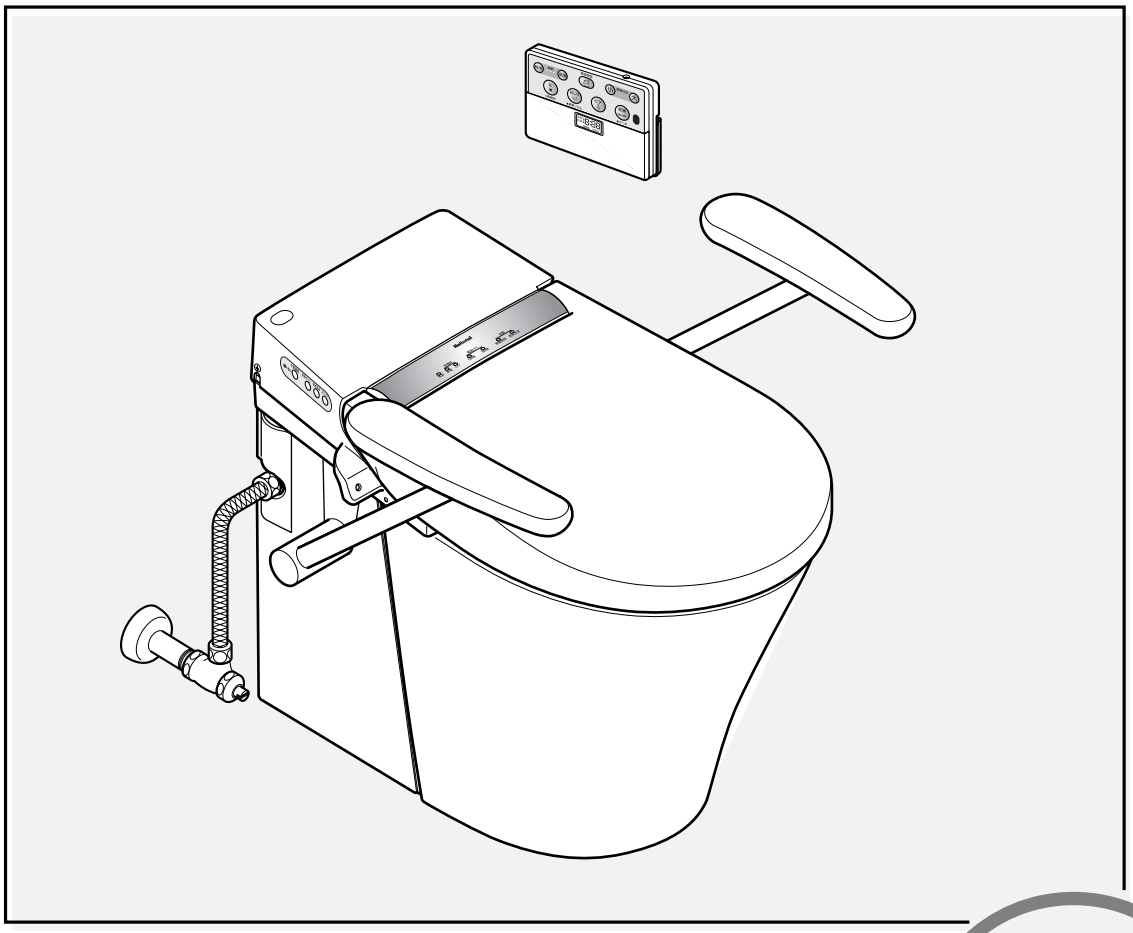
シャワレイン トレス
リフォーム・トレス

一般地仕様		寒冷地仕様	
アームなし	アーム付	アームなし	アーム付
CH4681□□□	CH4681□M□□	CH4681□□□7	CH4681□M□□7
CH4682□□□	CH4682□M□□	CH4682□□□7	CH4682□M□□7
CH4683□□□	CH4683□M□□	CH4683□□□7	CH4683□M□□7

取扱説明書

■ ご使用の前に必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

■ 取扱説明書、施工説明書、保証書は必ず保管してください。



お買い上げいただきありがとうございます。
よくお読みの上、保証書と共に大切に保管してください。
商品に関する情報は、下記ホームページにて詳しくご紹介しています。
住まいの設備と建材のサイト http://national.jp/sumai/

保管用
よくお読みください
保証書別添

安全上のご注意

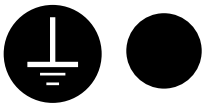
※ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
※ここで示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は次のように区分しています。

いずれも、安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠**警告**	誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合
⚠**注意**	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される場合

絵表示の例

記号は、**禁止**の行為であることを告げるものです。
（左図の場合は分解禁止）


記号は、行為を**強制**したり、**指示**したりする内容を伝えるものです。
（左図の場合はアース工事をする）

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告

分解禁止	■ 絶対に分解したり、修理・改造はしない 感電、火災、けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。
水場使用禁止	■ 浴室内など、湿気の多い場所には設置しない 感電や火災の原因になります。
水ぬれ禁止	■ 本体や電源プラグに汚水や水をかけない 感電や火災の原因になります。
ぬれ手禁止	■ ぬれた手で電源プラグを接続しない 感電の原因になります。
禁　止	■ 中水道や工業用水、井戸水等、上水道以外の水道に接続しない ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。
	■ 傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない また電源コードを破損するようなことはしない 感電や火災の原因になります。
	■ 開口部（乾燥吹出口・部屋暖房吹出口）から指や物を入れない（CH4681、CH4682のみ） 感電、やけど、火災、故障の原因になります。

⚠警告

禁　止

■ 交流100V以外では使用しない
感電や火災の原因になります。

■ 便器本体やアームレストに乗ったり、強い衝撃を加えない
転倒したり、割れてけがをするおそれがあります。

必ず守る

■ 低温やけどに注意する
便座に皮膚の同じ場所が長時間触れていると、低温やけどの原因になります。

■ 暖房便座や乾燥（CH4681、CH4682のみ）を長時間使用する場合はやけどに注意する。

次のような方が、暖房便座や温風乾燥をご使用になるときには、周囲の方が便座温度の設定や乾燥温度の設定を「低」にしてあげてください。
お子様、お年寄り、ご病人、自分で温度調節のできない方、皮膚感覚の弱い方、眠気を誘う薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された方、深酒・疲労の激しい方

■ 定格15A以上のコンセントを単独で使う
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

■ 電源プラグにほこりが付着したら必ず取りのぞく
ほこりが付着したまま使用すると火災の原因になります。

■ 電源プラグは確実に根元まで差し込む
差し込みが不完全な場合、感電や火災の原因になります。

■ コンセントから抜く場合は必ず電源プラグを持つ
コードを引っ張ると破損し、感電・ショート・発火の原因になります。

アース線接続

■ アース工事を確認する
アース工事がされていないと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
アース工事をお買い上げの販売店にご依頼ください。

⚠注意

禁　止

■ 便器にかたいものを落とさない
便器の破損による水もれの原因になります。

■ 給水ホース等に力を加えない
水もれの原因になります。

■ 便器本体やアームレストがガタついたまま使用しない
水もれや破損、転倒事故の原因になります。

■ 便器に熱湯をかけない
便器の破損による水もれの原因になります。

■ 便ブタや本体、アームレストの上に重い物や割れ物を置かない
落下破損による水もれの原因となります。

安全上のご注意

⚠注意

禁　止	■ 水溜り面から便器内部にホースやかたいもの等を挿入しない トラップ部が破損し、水もれの原因となります。
	■ トイレットペーパー以外のものは流さない 万一便器が詰まった場合は続けて洗浄操作をしない 便器から汚水があふれる原因になります。
	■ 便ブタに、もたれかからない 破損してけがの原因となります。
	■ 部屋暖房用温風吹出口をふさがない(CH4681のみ) 過熱や火災の原因になります。
	■ 本体にヒーター等を近づけすぎない 火災の原因になります。
	■ 洗剤、シンナー、ベンジン、薬品等をかけない 割れてけがをしたり、感電の原因になります。
必ず守る	■ 凍結予防する為に水抜きをし、凍結防止ヒータープラグをコンセントに差し込む (寒冷地仕様のみ、19ページ参照) 凍結すると配管、本体内部が破損して水もれの原因になります。
	■ 長期間使用しないときは、本体の水を抜き電源プラグを抜く(20ページ参照) そのまま放置すると水の腐敗による皮膚の炎症、感電、事故の原因になります。
	■ 便座、便ブタ開閉時、指などをはさまないようにする けがの原因になります。
	■ アームレスト使用時、アームレストは一番下までおろして使用する アームレストはね上げ時、アームレストが止まる位置まではね上げておく(アーム付のみ) 中途半端な位置で使用するとけがの原因になります。

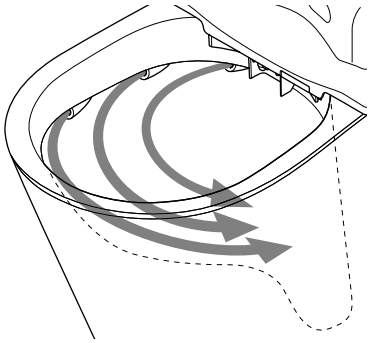
もくじ

安全上のご注意 ……1～3ページ
特長 ……4ページ
各部のなまえ ……5～7ページ
知っておいていただきたいこと ……8ページ
ご使用前の準備……9～12ページ
使いかた ……13～18ページ
お願い事項 ……19～22ページ
お手入れのしかた ……23～27ページ
故障かな？と思ったとき ……28～29ページ
定格・仕様 ……30ページ
保証とアフターサービスについて ……31ページ

特長

ジェット・ターントラップ洗浄

節水・静音を特長としたターントラップ洗浄に、ジェット洗浄が加わりました。
だから便器ボウル面についた汚れも、ジェット洗浄による旋回流の力で簡単に洗い流すことができ、その上、節水・静音機能もそのまま。



快適・清潔

ノズル滝洗浄

使用する度にノズルを洗浄。だから、清潔さが違います。

おしりとビデのノズル部分を、使用前・後、立ち上がり後の計3回、強力シャワーで自動洗浄。
ノズル先端から柄の部分まで、汚れをしっかり落として清潔さを保ちます。

1 前洗浄 ノズルが出るときに 洗う。

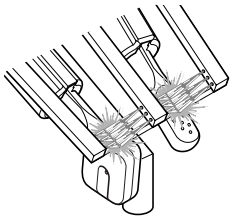
▼

2 後洗浄 ノズルが戻るときに 洗う。

▼

3 仕上洗浄 立ち上がったときに 洗う。

強力シャワーで、ノズルをとことん掃除。



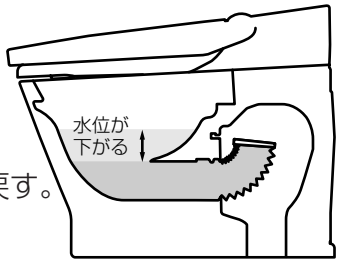
ノズルから、強力なシャワーが放出。おしり用・ビデ用それぞれのノズルを両サイドから洗い、汚れをしっかり落とします。

※リモコン操作パネルの（手動 ノズル洗浄）を押すことでもノズルを洗浄することができます。

掃除スイッチ（水面を下げることで、喫水線の水アカなどが掃除しやすくなります。）

便器そうじ（本体側）をピッと押すと水位が下がる。

便器そうじ（本体側）または、大（リモコン側）を押して、水位を戻す。

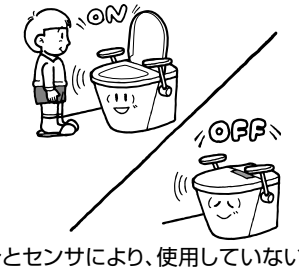


掃除終了後、

※スイッチを押すと、一旦、大洗浄を行い、元の水位に戻ります。
（放置していたら20分後に大洗浄をして、通常水位に戻る）

省エネ・便利

電源オートオフ



ひとセンサにより、使用していないときの無駄な電気代をセーブします。

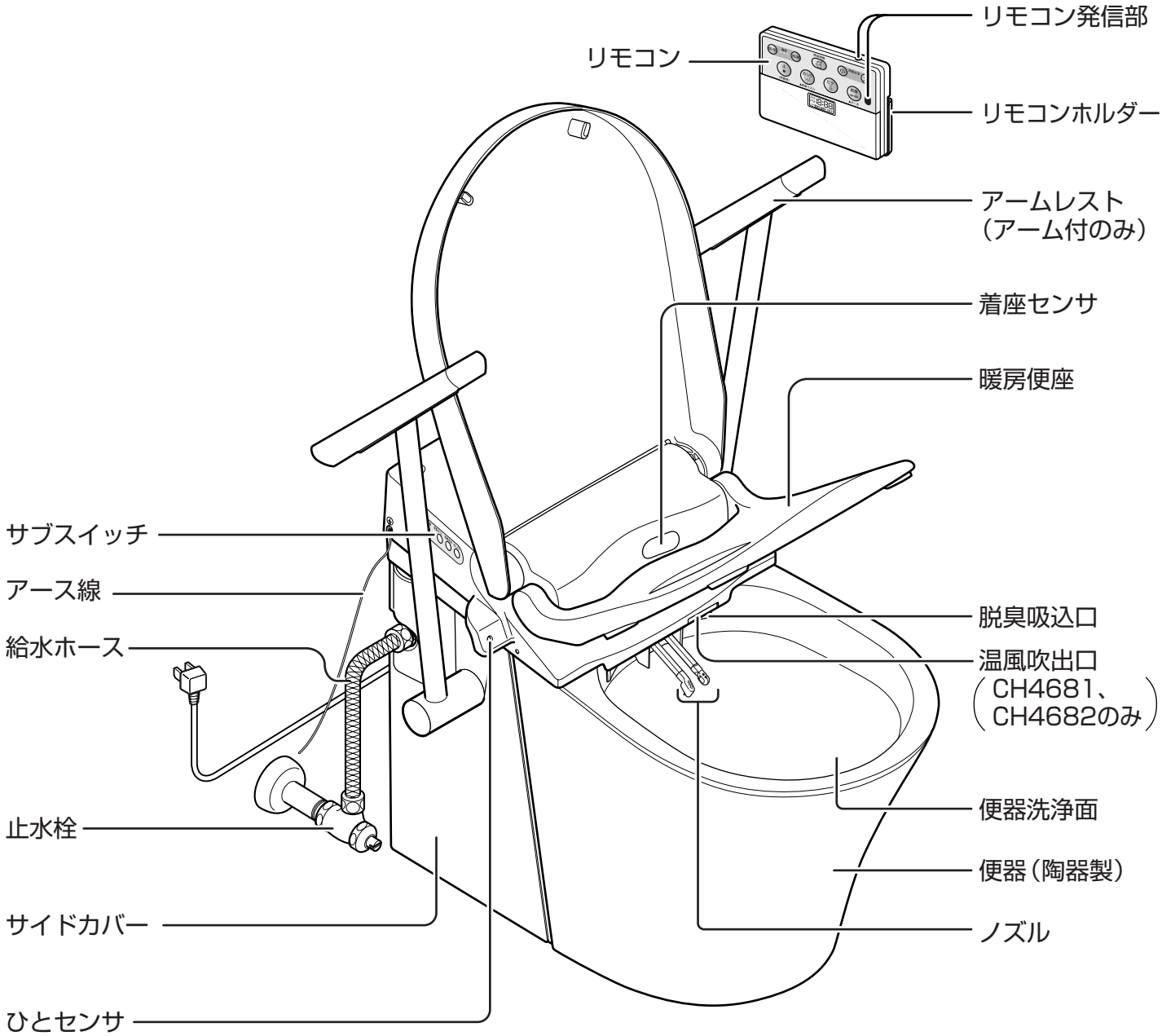
節 電

人がトイレにいない時でも便座とお湯を低温で保温します。

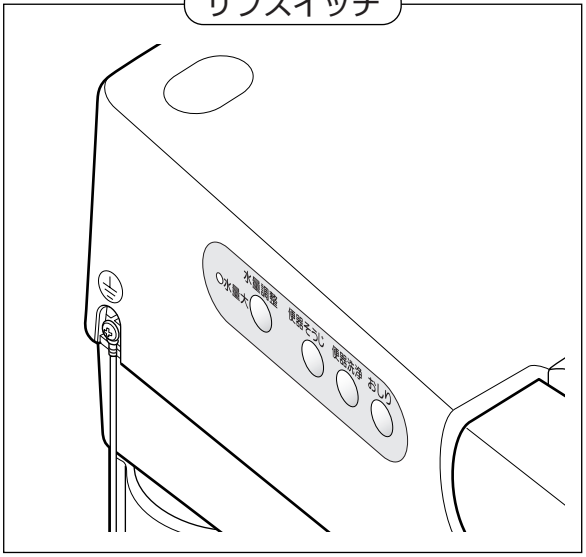
6･9時間切タイマー

すべての動作を6時間または9時間止めます。夜間や外出時に使うと便利です。

各部のなまえ



サブスイッチ



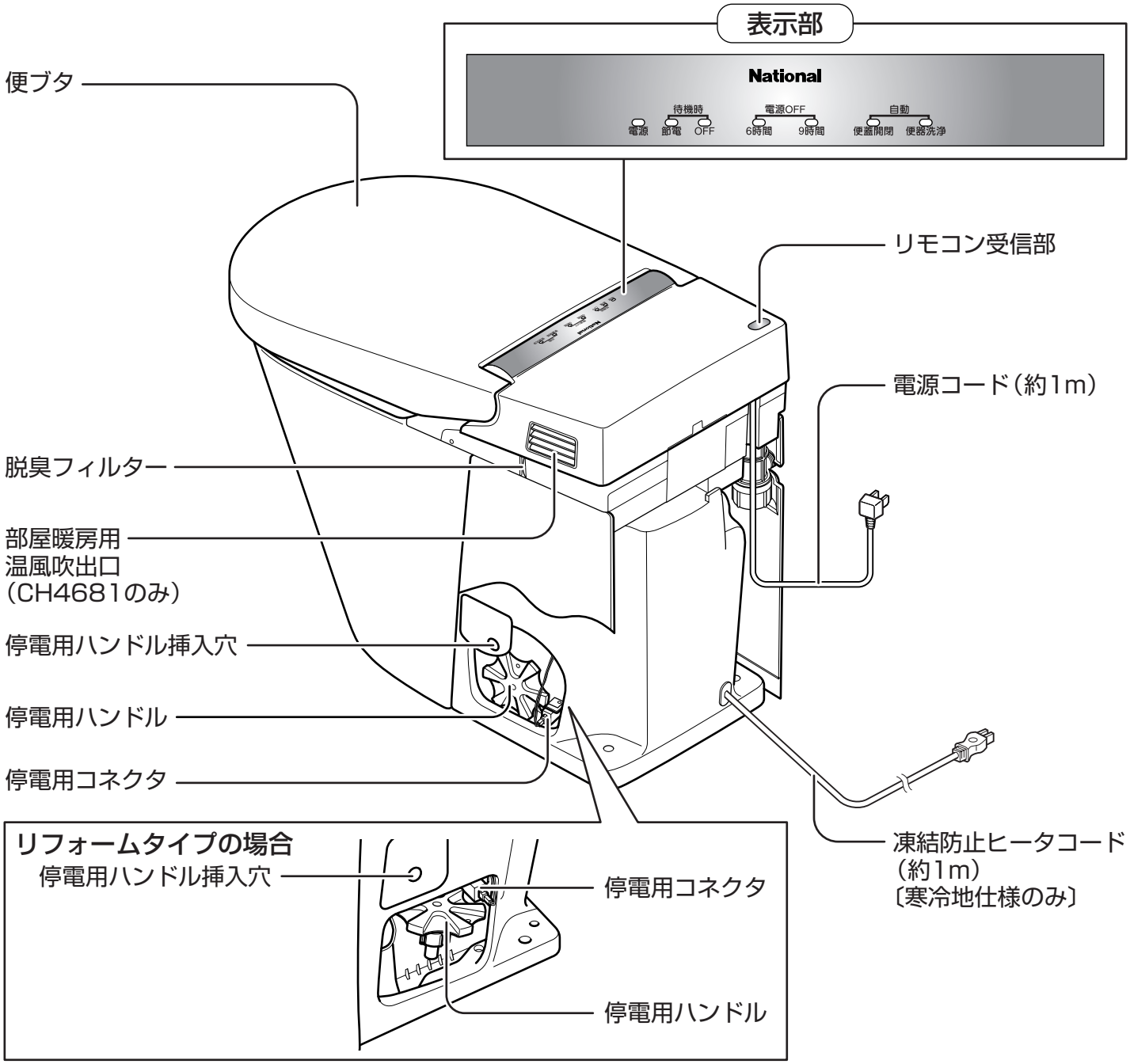
サブスイッチ

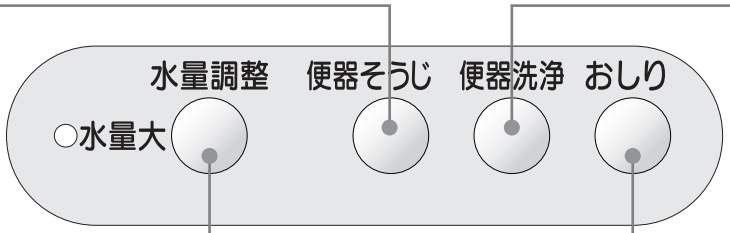
便器そうじモードスイッチ

便器そうじスイッチを押すと便器の水面が下がり、掃除がしやすくなります。

水量調整スイッチ

便器洗浄水量の調整ができます。
詳しくは、8ページをご覧ください。





便器洗浄大スイッチ

リモコンが使えない時にも大洗浄ができます。

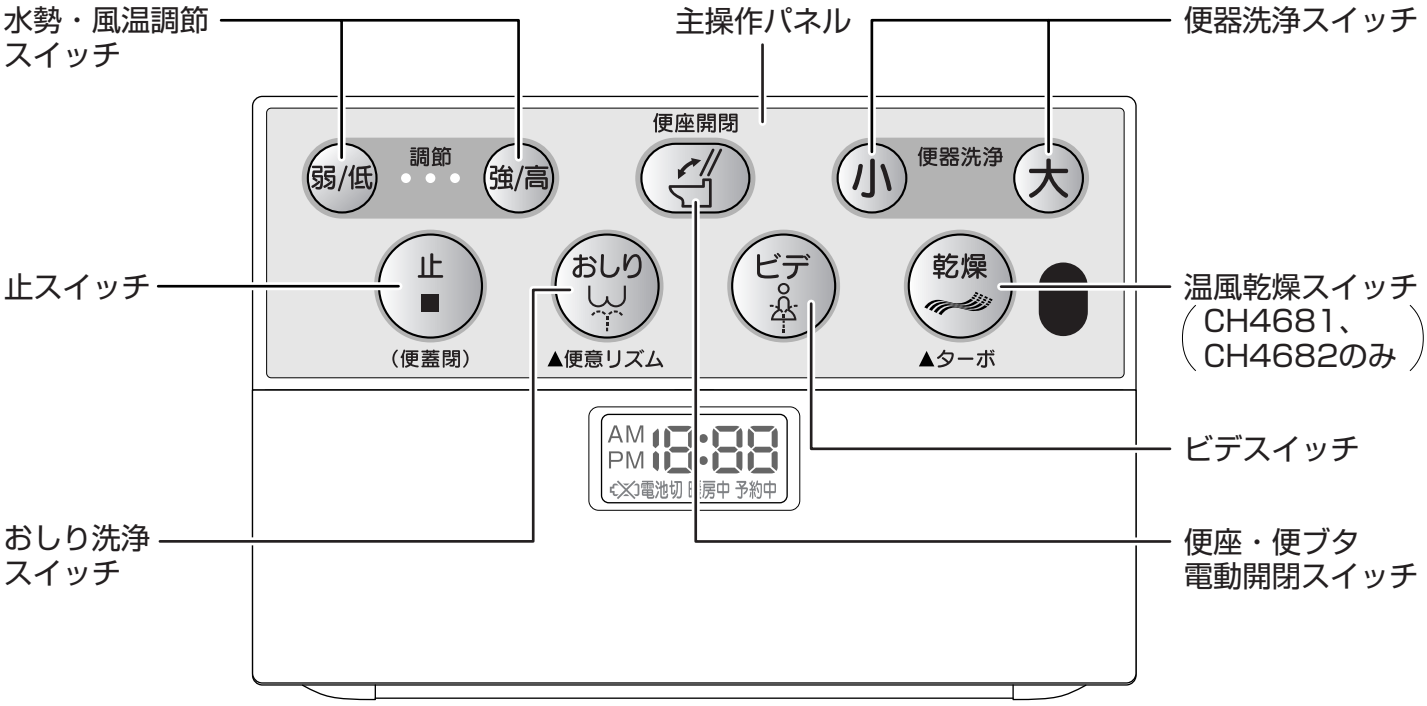
おしり洗浄スイッチ

- おしり洗浄の「ON」「OFF」ができます。
- リモコンが使えない時にもおしり洗浄ができます。
  ただし水勢レベルは3段階中の2（中）です。

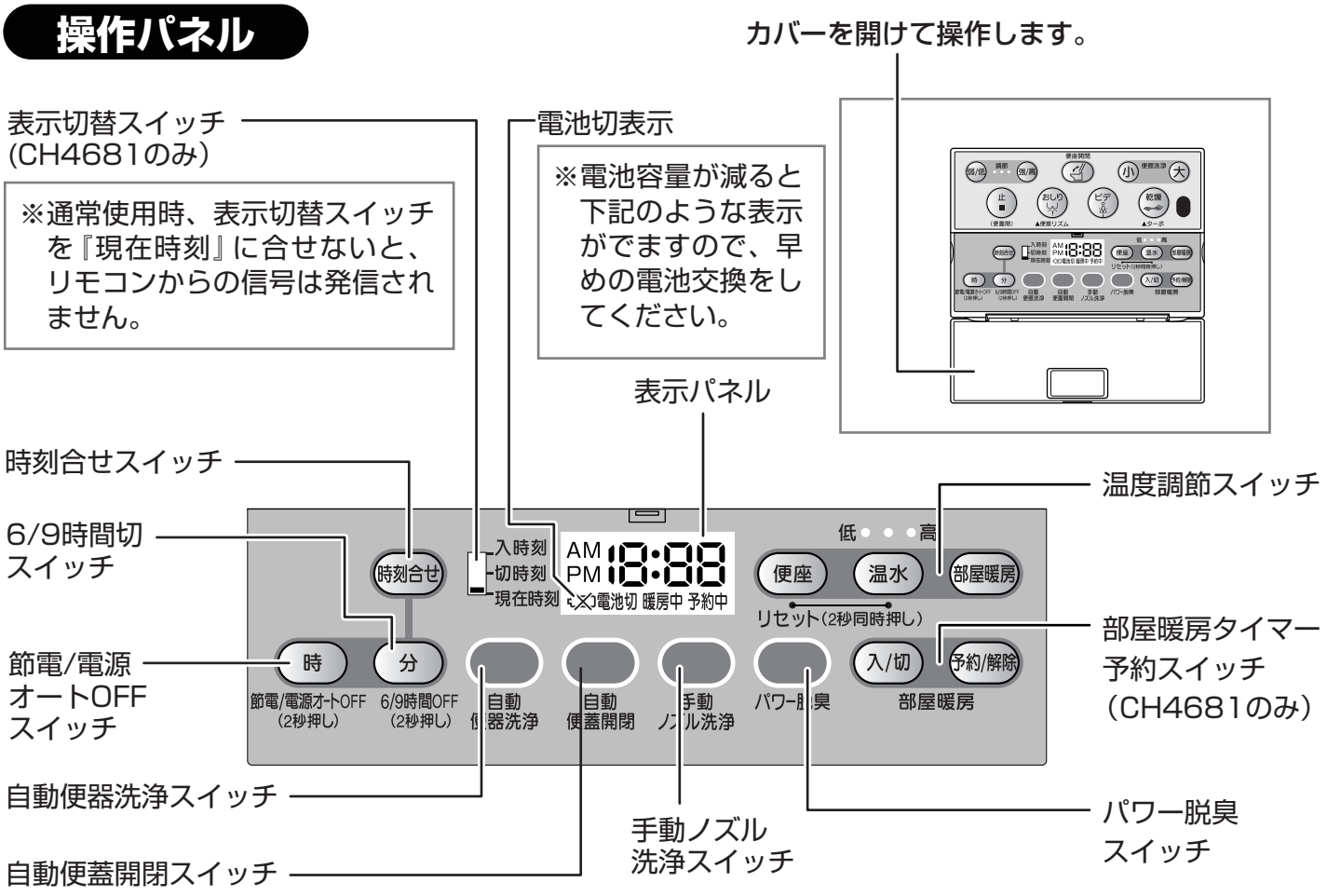
各部のなまえ

主操作パネル

※イラストはCH4681です



操作パネル

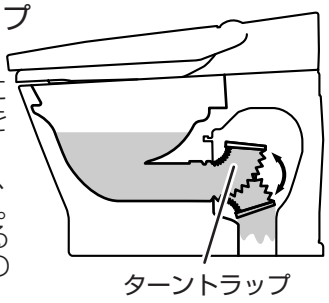


操作スイッチの働きについては、13～16ページの使いかたの項をご覧ください。

知っておいていただきたいこと

■ ジェット・ターントラップ洗浄方式

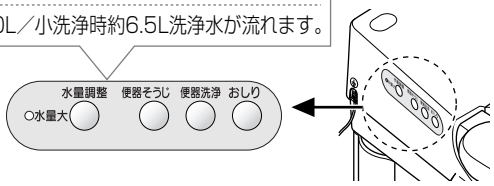
- 本便器は、ターントラップ洗浄方式です
  ターントラップが上下に可動することで、汚物を排出します。
  従来の便器と比べ、節水、静音性能が優れています。
  また、ジェット洗浄による旋回流の力で、ボウル面の汚れも強力にとります。



■ 洗浄水量の調整方法。

- 出荷時は標準モードにしています。
- 通常は標準モードでご使用ください。
- 一部の都市では使用条件が決められているところもありますので下水局等の指示に従い、増量の必要がある場合は増モードに設定してご使用ください。

標準モード（ランプ消灯）
大洗浄時約6L／小洗浄時約4.5L洗浄水が流れます。
増モード（ランプ点灯）
大洗浄時約10L／小洗浄時約6.5L洗浄水が流れます。

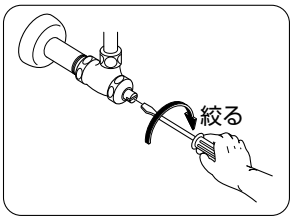


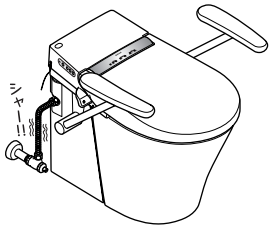
■ 下記のような場合には、リモコンが作動しにくいことがあります。

- リモコン受信部・発信部に直射日光が当たっている。
- インバータ照明を使用している。
- リモコン受信部・発信部の上方に棚などの障害物がある。
- 本体の上に、トイレットペーパーなどの物を置く。
  これらの場合は、直射日光が当たらないようにカーテンを使用したり、障害物を取り除く等の工夫をしてからご使用ください。

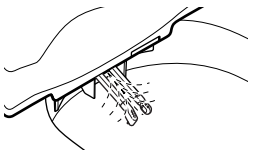
- 温水タンクは約1.4リットルです。水勢が「中」のときで約1分使用すると、洗浄水温が低下します。
- 停電時や断水時には、バケツ等で水を便器洗浄面に入れて汚物を排出してください。
- 万一、便器洗浄時に停電が発生した場合、封水深さを確保するためにバケツ等で水を便器洗浄面に入れてください。（詳しくは、21ページ「停電時または断水時の便器洗浄のしかた」をご覧ください。）

- 洗浄中、給水ホースが振動したり、給水音が大きい場合があります。これは水道水圧が高いことによるもので、故障ではありません。この場合止水栓を絞ってください。（但し止水栓を絞りすぎて洗浄性能が不十分とならないように注意してください。

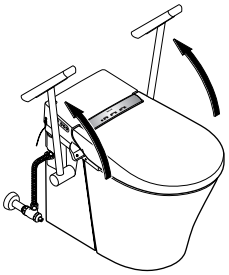




- 使用水道圧範囲は69～735kPa{0.7～7.5 kgf/cm²} ですが、98kPa {1.0 kgf/cm²} 以下ではおしり・ビデの洗浄水量が少なくなります。（リフォーム・トレスとリフォーム・トレス手洗器をセットでご使用の場合）使用水道圧範囲は98～735kPa{1.0～7.5kgf/cm²} です。
- 背筋を伸ばし便座の後よりに着座してください。前よりの座り方などでは、便座後部に洗浄水が飛び散りやすくなります。
- 洗浄中に立ち上がると、数秒間洗浄水が出たままになります。必ず（止）を押してから立ち上がってください。
- 他の蛇口を開いたり、便器洗浄中には水圧が下がることがあります。このとき、一時的に洗浄水勢が弱くなることがあります。
- 低水圧地域では、便器洗浄中におしり洗浄などを行うと、ノズルが十分に出ない場合があります。
- ノズル伸縮時には、ノズルを洗うための水がでます。



- 便座カバー、便ブタカバーは使用できません。使用すると、便座開閉機能や節電機能が充分に発揮できない場合があります。
- おしり・ビデ洗浄中、本体部裏側のノズル根もと付近から水がでます。これは構造上必要なもので、故障ではありません。
- 洗浄・乾燥は2分以上連続使用すると、タイマーが働いて自動的に停止します。続けてご使用になりたい時は再度スイッチを押してください。
- アームレストは、使用しないとき、じゃまにならないように、はね上げることができます。（アームレスト付のみ）

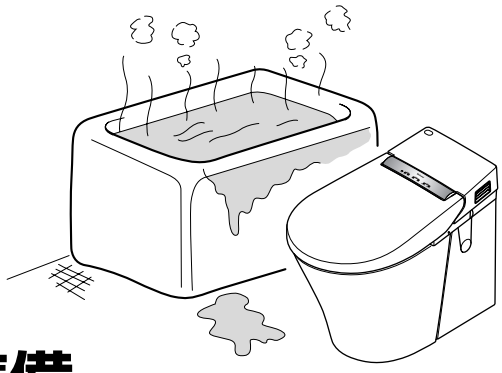


- アームレストは、車いすをご利用の方や介助が必要な方向けではありません。このような方は、専用の補助具をお使いください。

ご使用前の準備

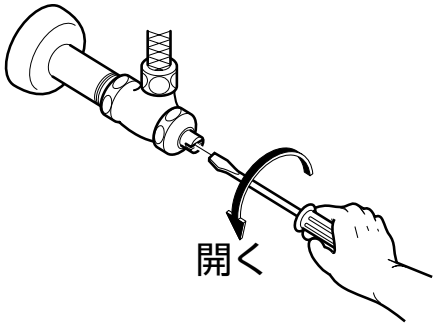
❶ 設置場所の確認

バスルーム内など湿気の多い場所に設置されていませんか。
故障の事故の原因になります。

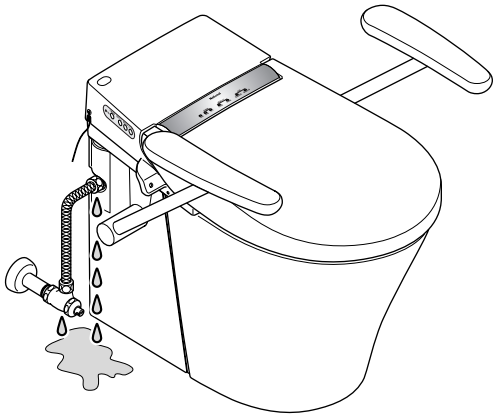


❷ 便器本体への給水準備

止水栓は開いていますか。
閉じている場合は開いてください。



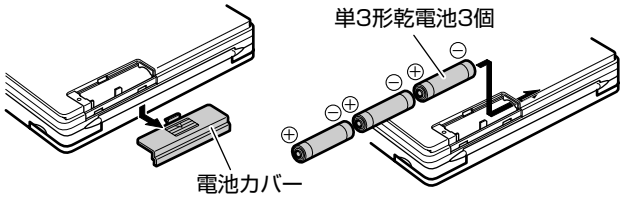
水もれはありませんか。もし水もれがあれば施工店にご連絡ください。



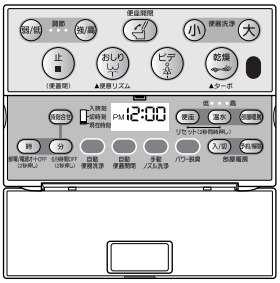
❸ 電池を入れる

1 電池を入れる

- ⊕⊖ を正しく入れる。(単三形乾電池3個)
- 電池寿命は約1年です。交換するときは3個とも新しい、同種のものにする。
- 長時間使わないときは取り出しておく。



2 リモコンの主操作パネルおよび副操作パネルで、現在時刻、温度調整、機能予約をする。



• セット方法は11～12ページをご覧ください。

6時間切ランプが点滅しているときは

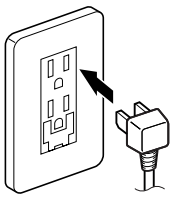
1 電源プラグを抜いたり、停電があると本体に記憶されている予約状態は解除されます。

2 電源が復帰すると、6時間切ランプが点滅表示となります。

リモコンと本体の設定状態が一致していないことを表します。

4 便器本体への通電

1 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。電源ランプ、6時間切ランプが点滅します。

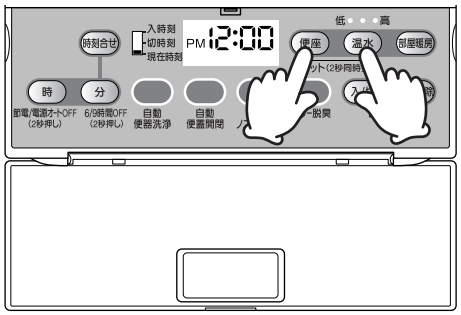


6時間が点滅している場合は、リモコンの予約状態が本体と一致していないことを表します。

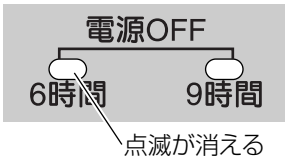
約15秒以上経過しても、電源が点滅しているときは、温水タンクが満水になっていないことを表します。

5 リモコンと本体の予約状態合わせ

1 便座 温水 スイッチを同時に約2秒間押す。
リセット(2秒同時押し)



2 ピッと音がして6時間切ランプの点滅が消え、リモコンで予約した状態で使えるようになります。



（リモコンと本体の予約状態がいっしょになります。）

6 温水タンクへの給水方法

1 本体サブスイッチまたはリモコンの おしり を押すと温水タンクに給水しはじめます。約1分で満水になり、自動的に停止します。

2 タンクが満水になると、“ピッ”と音がして給水が終わります。
※電源ランプが点滅に戻った場合は27ページ「故障かな？と思ったら」をご覧ください。

3 洗浄水温は適温になるまで、約5～10分かかります。

7 便器洗浄面への給水方法

便器洗浄
サブスイッチの スイッチまたはリモコンの便器洗浄 大 スイッチを押すと、便器洗浄面に給水しはじめ、自動的に停止します。

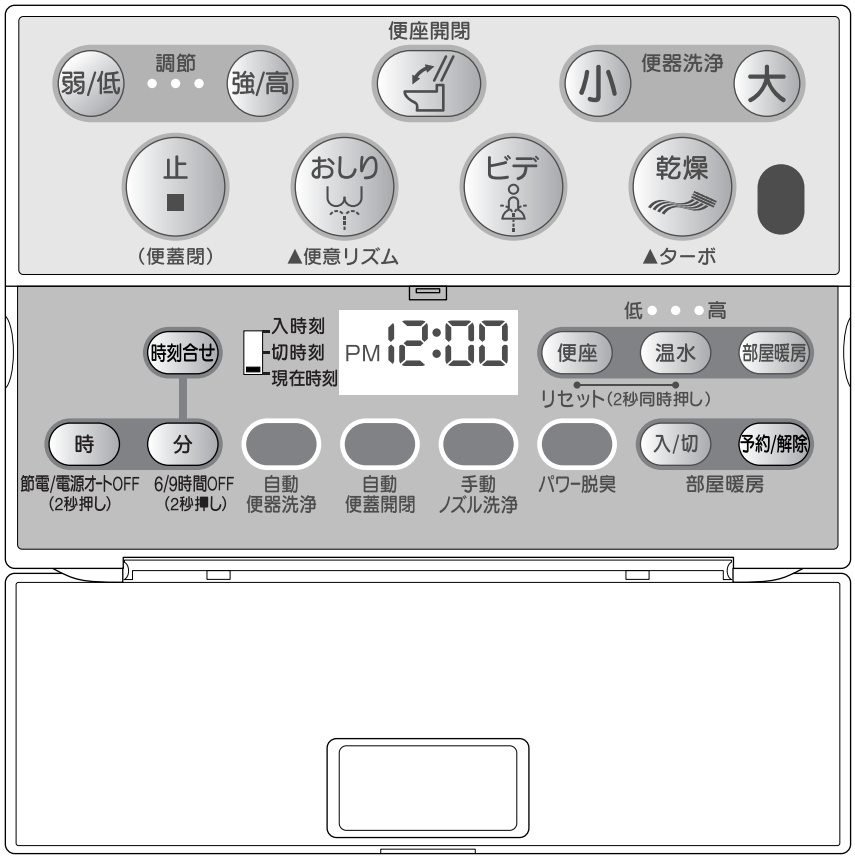
3 リモコン副操作パネルの 便座 温水 スイッチを同時に約2秒間押す。
リセット(2秒同時押し)

リモコンにセットされている予約が本体に送信されます。

4 “ピッ”と音がして6時間切ランプの点滅が消え、リモコンで予約した状態で使えるようになります。

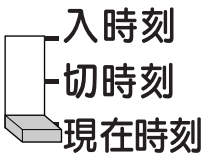
ご使用前の準備 つづき

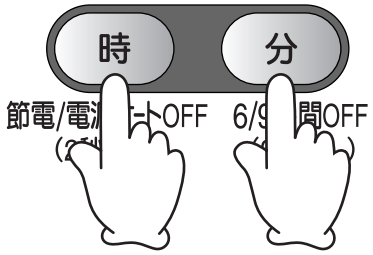
現在時刻の合せかた



1 乾電池を入れると時計は PM 12:00 を表示します。

2 表示切替スイッチを現在時刻にして、時刻合せ を押す。 時 分 スイッチで、現在時刻を合せます。





3 時刻合せ スイッチを再度押すと、時計が動きはじめます。

現在時刻がくるった場合

① 時刻合せ スイッチを押し、

② 表示切替スイッチを現在時刻にして、 時 分 スイッチで現在時刻に合せる。

③ 時刻合せ スイッチを押す。

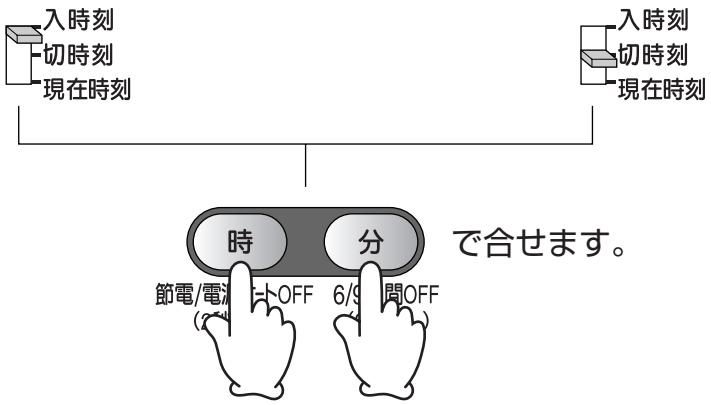
タイマー予約による部屋暖房のしかた

1 部屋暖房タイマーは、
- 1分単位で
- 「入時刻」「切時刻」を予約できます。

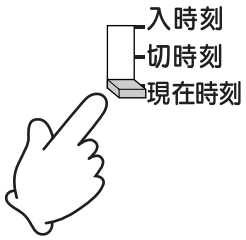
> - 「入時刻」と「切時刻」を同じ時刻に設定してもタイマー予約できません。
> - タイマーによる暖房運転は、毎日同じ時刻に作動します。
> - 30時間以上便座に着座しない（留守など）ときはタイマーによる暖房運転を行いません。便座に着座すれば次回からタイマー予約通りに暖房を再開します。

2 タイマー時刻の設定

●入タイマーの設定　　●切タイマーの設定

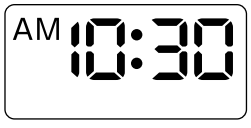


3 表示切替スイッチを現在時刻に戻す。



4 予約/解除 を押し、タイマー予約が完了します。

5 もう一度 予約/解除 を押すと、タイマー予約が解除されます。（セットした時刻は記憶しています。）

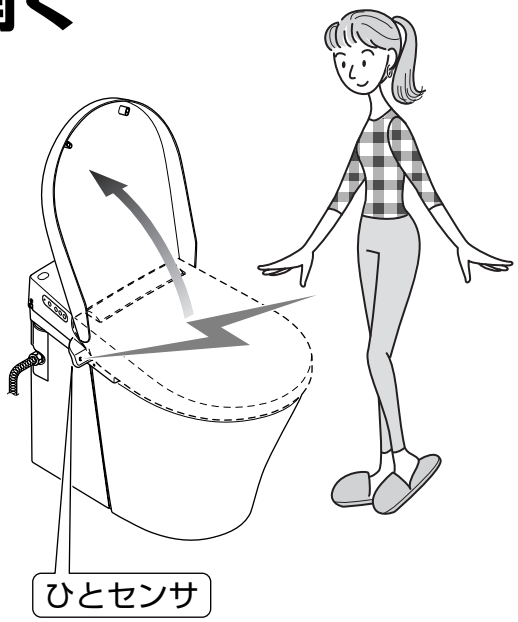


使いかた

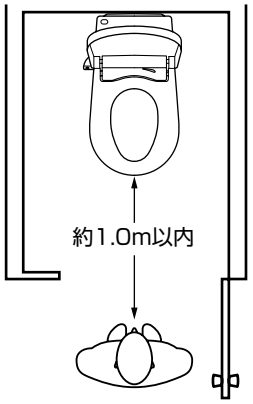
① 便ブタが自動で開く

- トイレに入るとひとセンサがはたらき、便ブタが自動で開きます。
- 便座、便ブタ電動開閉動作中は手などで動きを止めたり逆方向に動かさないでください。動作不良、故障の原因になります。
- 電源投入時にはONの状態です。

リモコンの 自動便蓋開閉 スイッチを押すと、予約／解除が可能です。予約されると表示部の便蓋開閉ランプが点灯します。



ひとセンサは便座先端より正面距離約1m以内で検知します。



※室温によって検知感度が良くなります。

ちょっと待って!

●電源プラグを差し込んだ時、自動開閉予約を設定した直後は、約1分間は、ひとセンサははたらきません。
急に便ブタが開くことがないようにするためです。

●便座、便ブタを、リモコンや手で閉めた場合も、そのあと約1分間は、ひとセンサははたらきません。
トイレから出るときに、閉めたふたが開いてしまわないようにするためです。

② 便座に座る

- 便座に座ると着座センサがはたらきます。
- 水勢ランプが点灯します。
- 便器内の脱臭をはじめます。

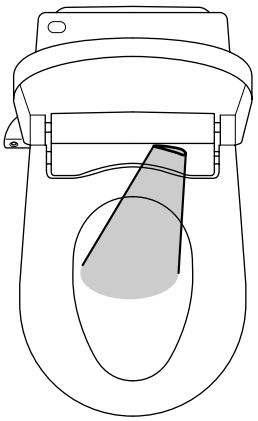
⚠注意

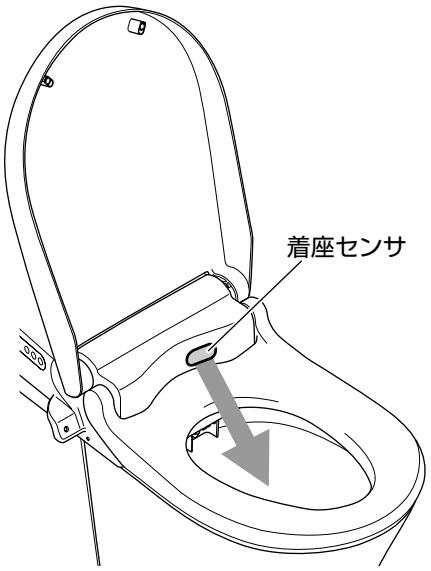
●便座、便ブタ、操作部や本体の上に乗ったり、強い衝撃を与えない
転倒したり、割れてけがをする原因になります。

着座センサについて

- 着座を検知すると洗浄や脱臭・乾燥（CH4681、4682のみ）が使えるようになります。
- 着座センサからは下図のように赤外線が出ています。この赤外線の位置に着座すると人体を検知します。

着座センサの検知エリア





お願い

便座・便ブタ電動開閉中に手などで押さえないでください。
故障の原因になります。

お願い

本体のリモコン受信部（6ページ参照）を衣服などでふさがないでください。

水勢・風温調節スイッチ

- 弱/低 強/高 を押すとおしり と ビデ 洗浄水勢及び、乾燥 の風温が 3 段階に調節できます。
（乾燥は、CH4681、CH4682のみ）
- 使用開始時は3段階中の2（中）の強さから始まりますのでお好みの水勢強さ、風温に調節してください。
- 直前に使ったレベルを記憶しています。
- おしり洗浄、ビデ洗浄中は、水勢を表示し、乾燥中は風温を表示します。

便座電動開閉

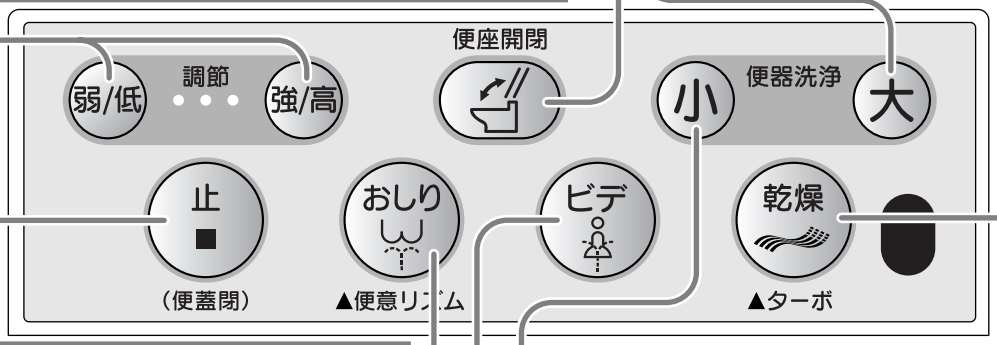
便座開閉

便座を開閉します。

便器大洗浄

（大便および女性小用時にお使いください）

大 を押すと便器大洗浄が作動します。



停止スイッチ

止 を押すと、**おしり**、**ビデ洗浄**、**乾燥**が停止します。
便座に座っていない時に便ブタがしまります。

便器小洗浄（男性小用時にお使いください）

小 を押すと便器小洗浄が作動します。

おしり洗浄スイッチ

おしり を押すと洗浄をします。

- 水勢は 弱/低 強/高 スイッチで調整できます。
もう一度おしり を押すと、おしり洗浄中に強弱を繰り返す刺激感のあるリズム洗浄になります。

※通常のおしり洗浄に戻すときはもう一度おしり を押す。

おすすめ

- 痔疾患者の方などソフトな水勢をお好みの方は、付属のおしり用ソフトノズルにお取り替えください。
（取り替えかたは、ソフトノズルと同梱の別紙説明書をご覧ください。）

- 設置場所の水圧によっては、水勢が最弱の場合、ノズルが出ないおそれがあります。その場合は、水勢レベルを1段階あげて、ご使用ください。

ビデスイッチ

ビデ を押すと、ビデとして使えます。

- 水勢は 弱/低 強/高 スイッチで調整できます。

乾燥スイッチ（CH4681/4862）

乾燥 を押すと温風で乾燥をします。

- 乾燥前にトイレットペーパーで軽く水滴をとると早く乾きます。
- 風温は 弱/低 強/高 スイッチで調節できます。

もう一度乾燥 を押すと、風量が強くなります。

※通常の風量に戻すときはもう一度乾燥 を押す。

使いかた つづき

6･9時間切スイッチ

※詳しくは、17～18ページをご参照ください。

分 を約2秒以上押すと、本体の6・9時間切ランプが点滅します。

約2秒間押すごとに

→ 6時間切 → 9時間切 → 予約解除 →

の設定になります。

- 6・9時間切ランプが点灯しているとき、便座温度、温水温度が「切」になります。（※6時間後、もとの設定にもどります。）
- 6・9時間切ランプが点灯しているときは、便器洗浄、便ブタ電動開閉のみ動作します。
- 6・9時間切ランプの点灯中に便座に座っても予約は解除されません。この場合、再度 分 を約2秒以上押して予約を解除してください。
- 6・9時間スイッチは、外出前や、就寝前に使用すると効果的です。

⚠注意

必ず守る

- 凍結防止ヒーターを使用する場合は6・9時間切スイッチは使用しないでください。（便ブタ部での結露の原因となります。）
- 凍結のおそれのある場合は6・9時間切スイッチは使用しないでください。（タンクなどが破損し、水もれの原因となります。）

節電スイッチ

※詳しくは、17～18ページをご参照ください。

時 を押すと、本体の節電ランプが点滅します。

約2秒間押すごとに

→ 節電 → 電源オートオフ → 予約解除 →

の設定になります。

- 節電運転ランプが点灯しているときは便座に座らない間、便座温度、温水温度が「低」のレベルになります。
- 便座に座ると自動的に元の便座温度、温水温度レベルに戻ります。（温度上昇に約1～2分かかります。）
  立ち上がると、再び節電運転に戻ります。
- 再度 時 を押すと予約解除できます。

ご注意

- 便座温度、温水温度を事前に「切」にしていた場合は、「低」になりません。「切」のままとなります。
- 季節によっては暖かく感じないことがありますが、故障ではありません。

さらに節電するためには

- 使用後は便ブタを閉める。（自動開閉OFFの時）
- 夏場は温水、便座の温度調節を「切」にする。

自動便蓋開閉の設定

自動便蓋開閉 を押すと、ふた自動開閉機能がはたらき、本体表示部の便蓋開閉ランプが点灯します。

※ふた自動開閉について

- 人が近づくと、ふたが自動で開きます。はなれると自動で便座・便ブタが開いていると、約4分で、便座が閉じます。
- 便ブタが開いていると、約2分で自動で便ブタが閉じます。
- 手動もしくは、スイッチによって便ブタを閉めた場合は、約1分間、自動による便ブタ開動作はしません。

パワー脱臭の設定

パワー脱臭 を押すと、パワー脱臭機能がはたらき、再度 パワー脱臭 を押すと解除されます。

パワー脱臭について

脱臭の風量を約1.5倍にアップしておいを強力に吸収します。

脱臭機能を止めたいとき

便座 と パワー脱臭 同時に約2秒間押す。（“ピー”という音がします。）

トイレルームなどの臭気には脱臭効果が少ない場合があります。

便座温度調整スイッチ

便座 を押すごとに便座温度設定が切り替わります。

→ 切 → 低め（約32℃） → ふつう（約36℃） → 高め（約40℃） →

温水温度調整スイッチ

温水 を押すごとに温水温度設定が切り替わります。

→ 切 → 低め（約33℃） → ふつう（約37℃） → 高め（約40℃） →

手動ノズル洗浄スイッチ

手動ノズル洗浄 を押すと、ノズルに向かって洗浄用の水が約4秒間出ます。

※着座時および着座センサエリア内では、動作しません。

便器自動洗浄予約スイッチ

自動便器洗浄 を押すと、本体表示部の便器洗浄ランプが点灯します。

- 便器洗浄ランプが点灯しているとき、便座から立ち上がってから約10秒後に自動的に便器を洗浄します。
- 再度 自動便器洗浄 を押すと予約解除できます。

※10秒以上着座しないと自動便器洗浄はしません。

脱臭予約／解除のしかた

脱臭を解除するとき

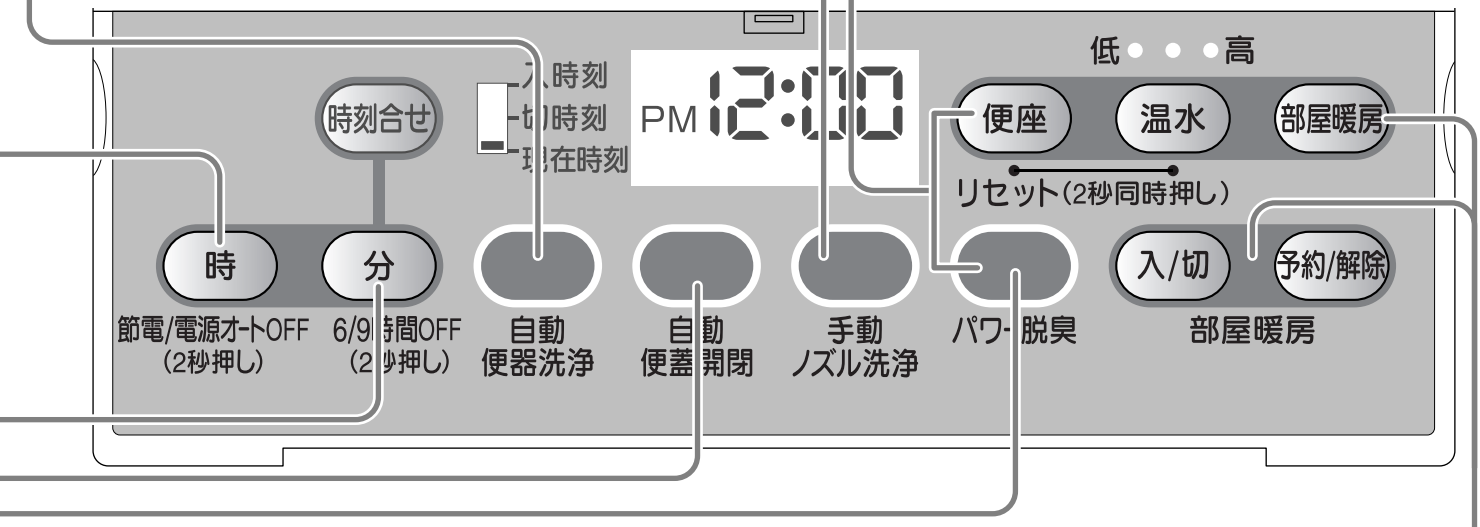
パワー脱臭 + 便座 を同時に約2秒間押すと、“ピー”と音が鳴り解除されます。

- 予約をしているときは、便座に座ると自動的に脱臭を開始します。
- 立ち上がって約1分後に自動的に脱臭を終了します。

※便器内の脱臭をするため、トイレルームの臭気には効果が少ない場合があります。

脱臭を再予約するとき

パワー脱臭 + 便座 を同時に約2秒間押すと、“ピッ”と音が鳴り再予約されます。



部屋暖房（CH4681のみ）

入/切 を押すと、部屋暖房タイマー予約に関係なく「入」「切」ができます。

- 「入」にして、切り忘れても**24時間後**には自動的に暖房は停止します。
- タイマーによる暖房中に 入/切 押すと暖房を停止することができます。
  翌日は、またタイマー予約時刻通り暖房「入」になります。
- 部屋暖房タイマー予約による暖房運転は12ページをご覧ください。

※部屋暖房におしり洗浄やビデ洗浄、乾燥・電動開閉を使用すると、部屋暖房が停止することがあります。
これは、温水ヒーター、乾燥ヒーター、電動開閉を優先しているためで、異常ではありません。

部屋暖房機能の動作

- 部屋暖房「入」にすると、液晶に「暖房中」を表示し、室温にかかわらず約10秒間運転をします。
- その後、室温を検知して室温が設定温度よりも低い場合には連続運転し、暖房設定温度に達すると、一時停止します。

「高」で約22℃、「低」で約17℃

- 冷え込み防止機能（自動運転）
  室温が約4℃以下になると自動的に部屋暖房機能が作動し、約6℃になると自動的に停止します。
（この機能は本機を保護するためのもので、切ることはできません。また、本機以外の機器を保護するものではありません。）

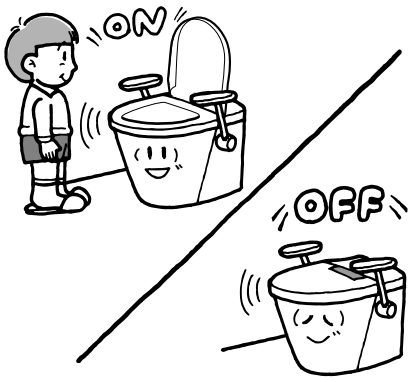
使いかた つづき

電源オートオフについて

電源オートオフとは？

ひとセンサが、トイレに人がいるか、いないかを検知して、トイレに人が入ってくると自動で電源が入り、人が出ていくと電源を切り、使用していないときの無駄な電気をセーブする機能です。

- **昼間、家に誰もいないご家庭におすすめの機能です。**
- **長時間不在のときなど、電源を切っておきたいときなどにもご使用いただけます。**



知っておいていただきたいこと

状況 入室後、便座・温水の温度が上昇するのに数分間かかり、季節によっては、つめたく感じる場合があります。

対応 電源オートオフを解除してください。

節電について

節電とは？

着座センサにより便座に人が座っているか、いないかを検知し、座っていないときには、便座と温水を低温で保温して、無駄な電気をセーブする機能です。

- **電源オートオフと異なり、便座や温水の電源が切れることはありません。**
- **電源オートオフと節電は同時に設定できません。**

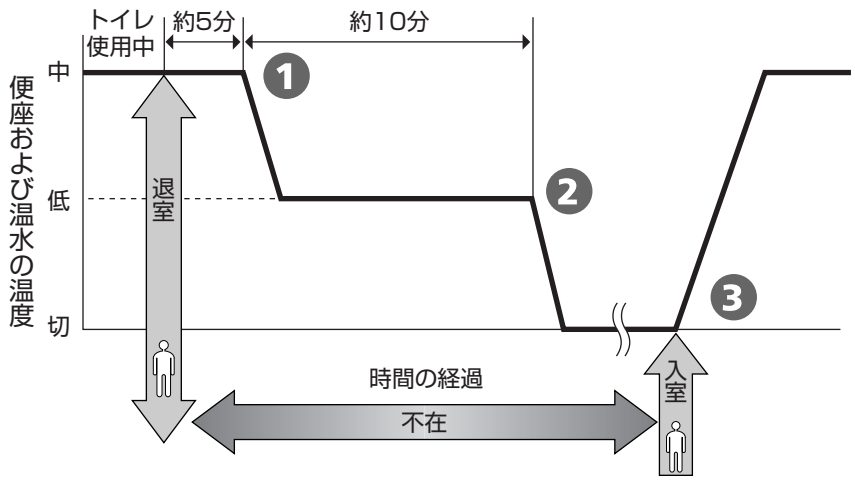
6・9時間切タイマーについて

6・9時間切タイマーとは

すべての動作を6時間、または9時間止めて無駄な電気をセーブし、6時間または9時間後には電源が入り、元の設定に復帰する機能です。

- **就寝時や、長時間外出するときなどにおすすめの機能です。**

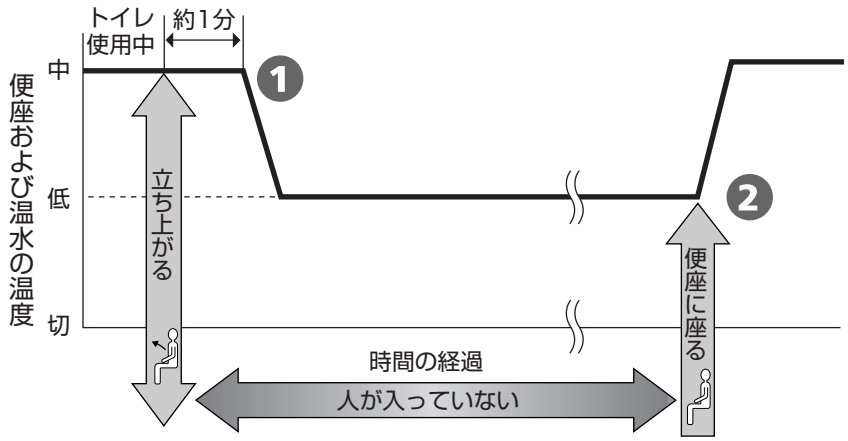
はたらきとしくみ



1. 人がトイレを出て約4分後（便ブタのみ開の場合は約2分後）に自動で閉まり、約5分後に便座および温水の温度を「低」に下げます。
   ※元々の設定温度が「高」の場合でも、「低」に下げます。
2. さらに約10分間、トイレに人が入らない場合、便座および温水を「切」にします。
3. ひとセンサが、トイレに人が入ってきた事を検知すると、便ブタが自動で開いて電源が入り、便座を元の設定温度に復帰します。

   着座すると、温水温度を元の設定温度に復帰します。

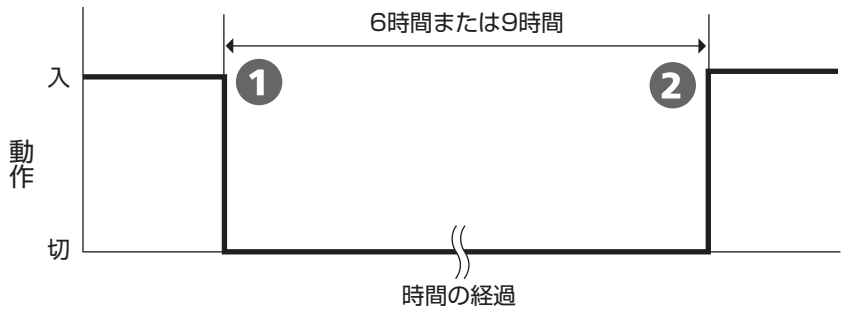
はたらきとしくみ　便座および温水の設定温度が「中」の場合



1. 便座から立ちあがって、約1分後に温度を低温で保温します。

   ※元々の設定温度が「高」の場合でも、低温で保温します。
2. 人が便座に座ると、元の設定温度に復帰します。

はたらきとしくみ



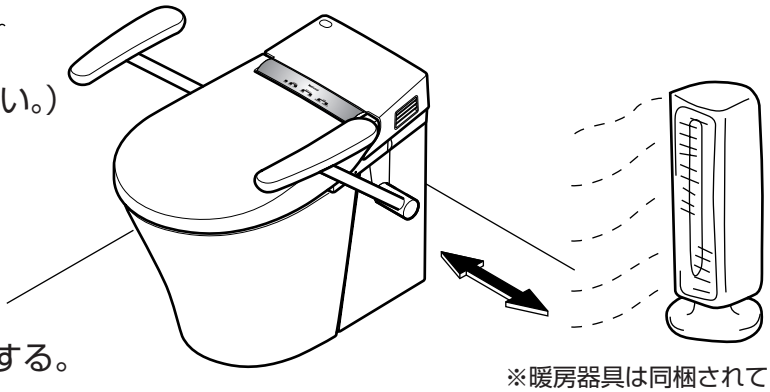
1. タイマーを設定すると、すべて動作が止まります。ただし、便器洗浄および、便座・便ブタの自動/電動開閉ははたらきます。
2. 6時間または9時間後に電源が入り、元の設定に復帰します。

   ※便座に座っても、元の設定に復帰しません。

お願い事項

凍結防止についてのお願い

凍結するとタンクや給水ホースが破損し、水もれ事故をおこすことがあります。
凍結のおそれのある場合は、電源ランプ：点灯、6時間切ランプ：消灯であることを確認し、温水および便座温度スイッチを「高」にし、
次の方法を実施してください。
（設定方法は6、13～16ページをご覧ください。）



※暖房器具は同梱されておりません。

方法1

暖房器具でトイレ内を暖房する。

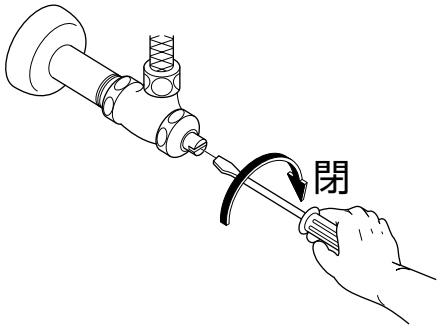
方法2　（CH4681部屋暖房機能付のみ）

付属の部屋暖房機能で、トイレ内を暖房する。

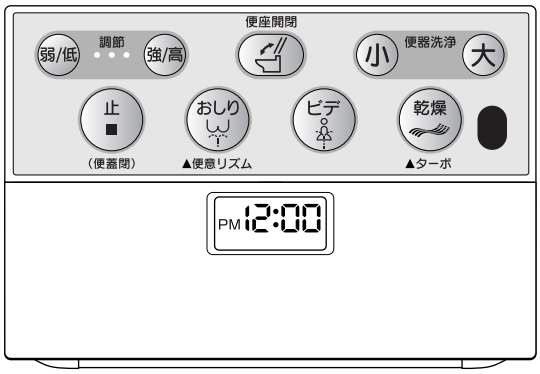
寒冷地仕様の場合

給水ホースの水抜きをし、便器の凍結防止ヒーターで便器の溜め水を保温する。

1. 止水栓を閉める。
（給水配管に水抜きがある場合は、その水抜き栓を開く。）



2. リモコンまたは本体の便器洗浄 大 スイッチを押す。
（4秒後にピー、ピー、ピーというブザー音がします。）



3. 水抜きが終わったら、凍結防止ヒータープラグを差し込む。

凍結防止ヒーターについて

便器の凍結防止ヒーターの凍結防止限界温度は。－15℃です。トイレルーム内の温度が－15℃以下になる場合は、方法1と合わせて行い、トイレルーム内を－15℃以上に保ってください。
※凍結のおそれのない場合は、連結防止ヒータープラグを抜いてください。

⚠注意

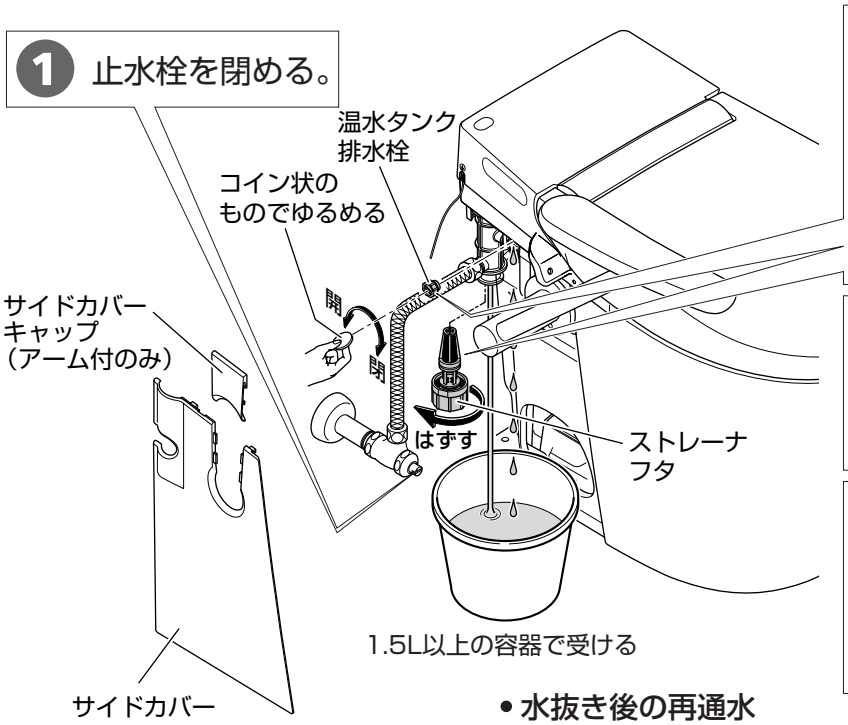
必ず守る

■ **凍結防止ヒーターを使用する場合は6/9時間OFFスイッチおよび節電/電源オートOFFスイッチは使用しないでください。**
便ブタ部の結露の原因となります。

長期間使用しないとき

長期間使用しないときは、給水ホースおよび便器本体の水を抜き、電源プラグとリモコンの電池を抜いてください。また、凍結のおそれがある場合は便器の溜め水に不凍液を入れてください。
（寒冷地仕様の給水ホースの水抜き方法については19ページをご覧ください。）
（一般地仕様の止水栓および便器本体内の水抜き方法については下記をご覧ください。）

1 止水栓を閉める。



2 サイドカバーキャップ、サイドカバーをはずし、ストレーナフタおよび温水タンク排水栓をはずし水抜きをする。
※サイドカバーキャップ、サイドカバー、ストレーナフタのはずしかたは、25ページを参照してください。

3 便器洗浄 大 スイッチを押す。
（4秒後にピー、ピー、ピーというブザー音がします。）

4 水抜きが終わったら元通りストレーナフタおよび温水タンク排水栓を締め付けて、サイドカバーキャップ、サイドカバーを取り付ける。

- **水抜き後の再通水**
  止水栓を開き、10ページの手順にしたがって温水タンクに給水します。

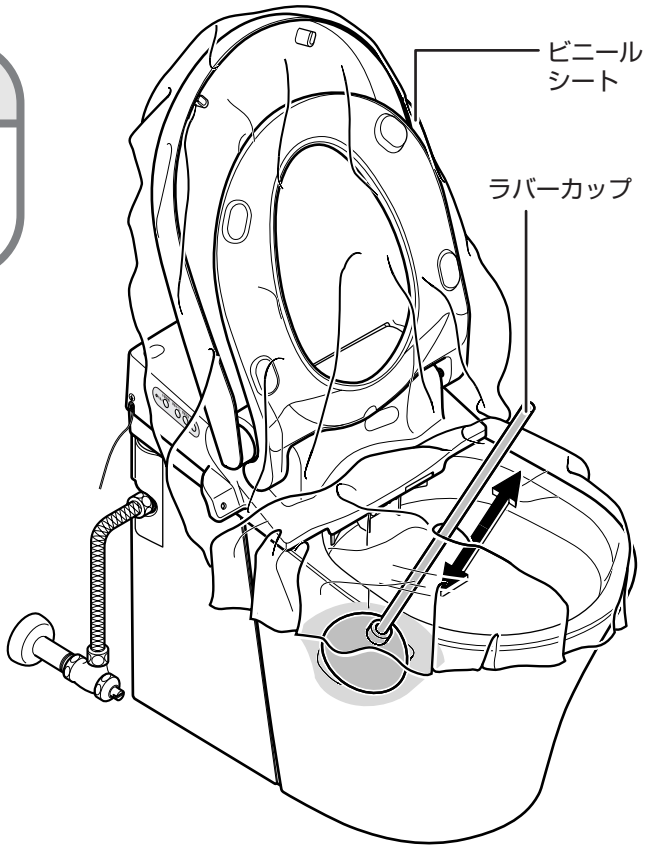
便器が詰まった場合

⚠注意

禁　止

■便器が詰まった場合は、続けて洗浄操作しないでください。
（便器から汚水があふれる原因となります。）

- 便器が詰まった時には、市販のラバーカップを使用し、詰まりを取ってください。
- ラバーカップはホームセンター、スーパー、金物店などで販売されています。便器が詰まった時のために、常備していただくことをお薦めします。
- ラバーカップが使用できるのは、汚物やトイレットペーパーが詰まった時です。それ以外の物（ボールペン、生理用品などの固形の異物）が詰まった時は、取れませんので、お近くの工事店にご相談ください。

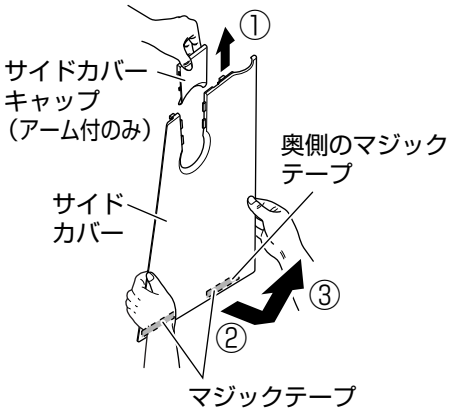


ラバーカップの使用方法

- 排水口をふさいで強く押したり引いたりしてください。この時、汚れが飛散する事がありますのでビニールシート等でカバーしてから使用される事をおすすめします。

お願い事項 つづき

停電時または断水時の便器洗浄のしかた



1 電源プラグをコンセントから抜く。

※電源プラグは、必ず抜いて作業してください。

2 サイドカバーキャップ、サイドカバーをはずす。

①サイドカバーキャップを持ち、上方にはずす。（アーム付のみ）

②サイドカバー下部を持って、奥側のマジックテープからはずす。

③少し持ち上げて横に引きぬく。

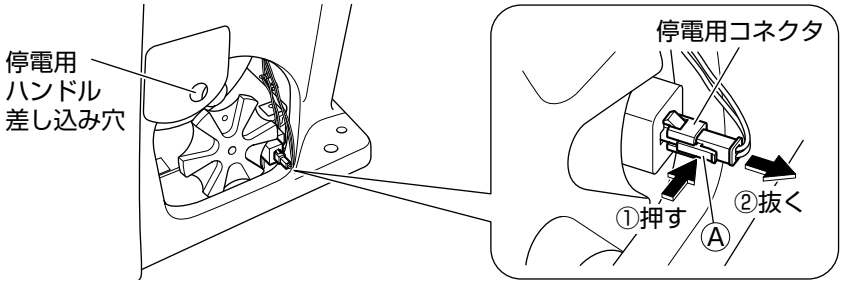
（アーム付の場合は、アームをはね上げた状態で行ってください。）

3 停電用コネクタを抜く。

①停電用コネクタのＡ部を押す。

②その状態でゆっくりぬく。

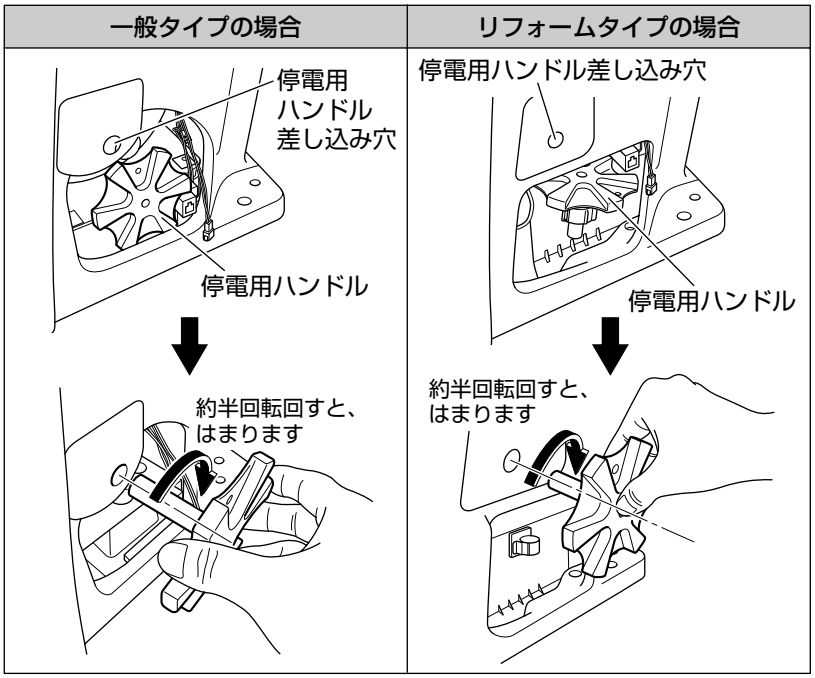
※停電用コネクタは、必ず抜いて作業してください。



4 停電用ハンドルを取り付ける。

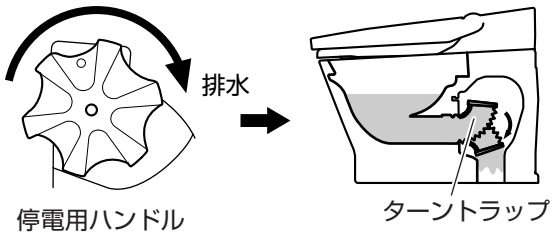
①停電用ハンドルを穴に挿入する。

※約半回転回すと、はまります。



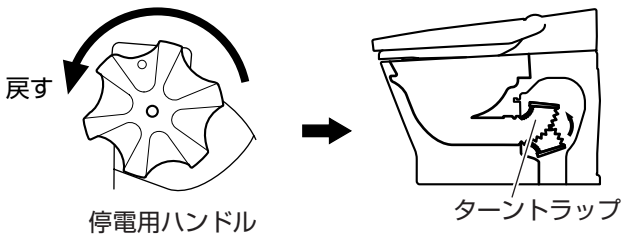
5 停電用ハンドルを約半回転回し、排水する。

ターントラップが下を向いて排水されます。



6 停電用ハンドルを約半回転戻す。

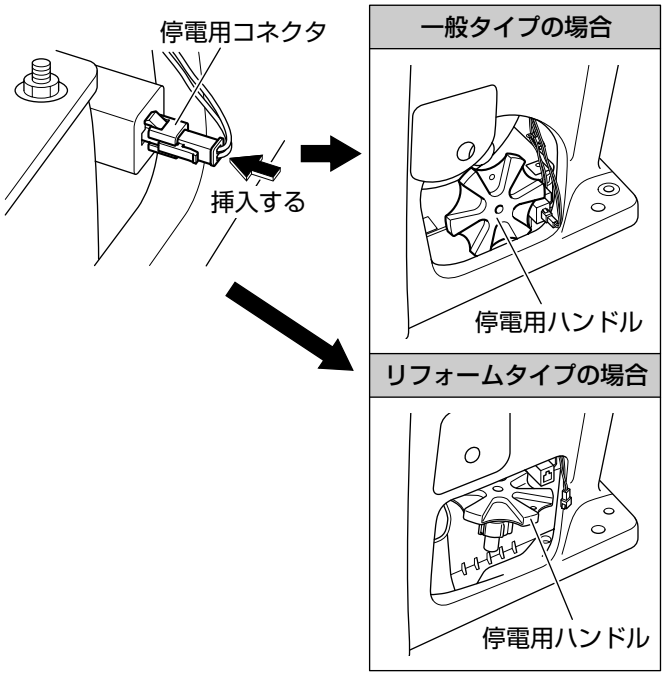
ターントラップが上を向きます。



7 便器のボール面にバケツ（約10L）で水を加える。

※必ず水を加えてください。
水を加えないと、悪臭の原因になります。

※万が一、汚物が戻ってきた場合は、再度❺から操作してください



8 停電、断水から復帰したら

①停電用コネクタを元通り挿入する。
※停電用コネクタはしっかりと差し込んでください。

②停電用ハンドルを元の位置に収納する。

9 サイドカバーキャップ、サイドカバーを元通り、取り付ける。（27ページ参照）

①アーム付の場合、アームをはね上げた状態にし、サイドカバーをアームに通し、サイドカバーキャップを上方から差し込み取り付ける

②サイドカバーを持ち、フックを本体の取付穴に差し込む

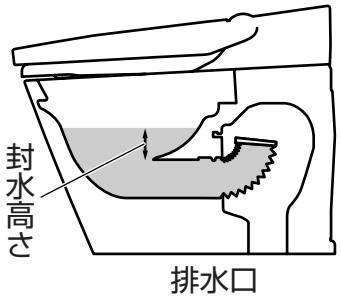
③下方に引き下げ取り付ける

10 電源プラグをコンセントに差し込み、本体またはリモコンの便器洗浄（大）スイッチを押して、便器洗浄面への給水を行ってください。
（通常の使用動作状態に戻ります。）

※電源プラグを一度抜いてから再び接続した場合には、6時間切ランプが点滅しますが、異常ではありません。6時間切ランプが点滅している時は9ページをご覧いただき、本体とリモコンの予約状態を一致させてください。

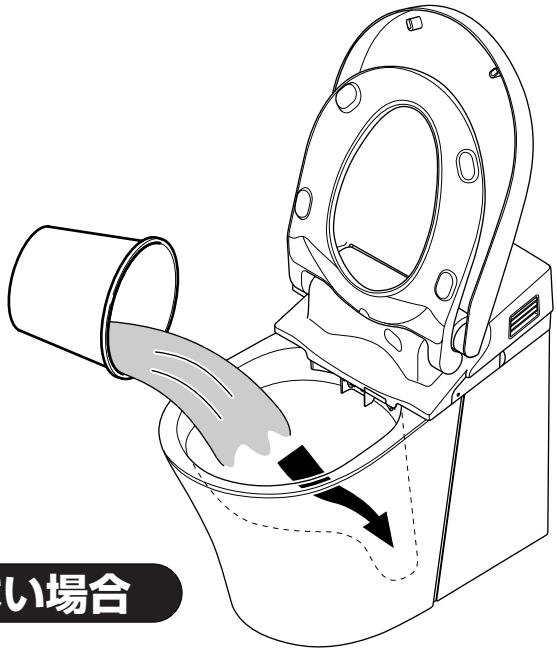
便器洗浄中に停電が起こった場合

万一、便器洗浄中に停電等が起こった場合、バケツ等で、便器洗浄面に水を入れて封水してください。



封水について

☆封水高さは、下水管からの有害ガス、悪臭、害虫の侵入を防ぐために必ず50mm以上確保してください。



万一のトラブル等により封水が確保できない場合

下記のいずれかの方法により封水を確保してください。

- 本体またはリモコンの便器洗浄（大）スイッチを押す。
- 便座本体の電源プラグを一度コンセントから抜いてから10秒後に再びコンセントに差し込む。
- ストレーナーの掃除（25ページ参照）を行う。

※それでも封水が確保できない場合はビニール袋（幅15～20cm）に水を入れて排水口をふさいで、お近くの松下電工お客様ご相談窓口にご連絡ください。

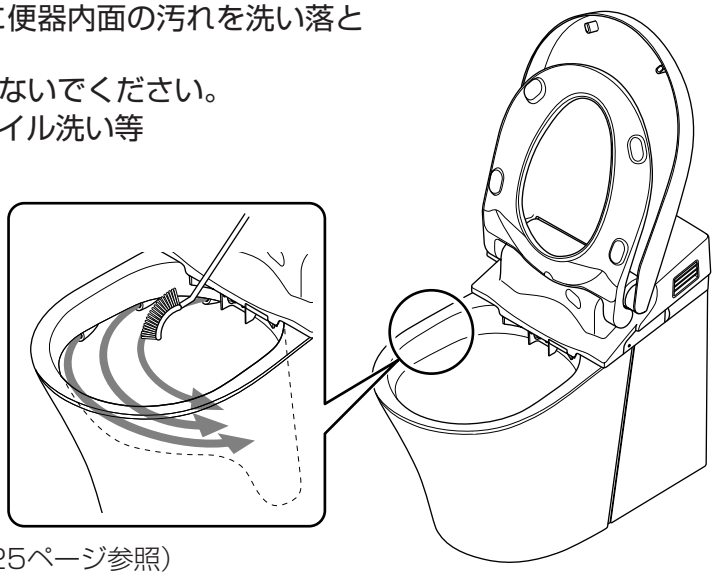
お手入れのしかた

便器のお手入れ

水洗便器はお手入れ次第で清潔さを保ち、長持ちさせることができます。
日頃からこまめにお手入れをしてください。

- 研磨剤入り洗剤やナイロンたわしは、器具の表面を傷つけますので使用しないでください。
- 金具のお手入れは、普段柔らかい布でみがき、ときには、ミシン油やカーワックスなどでみがいてください。
- 便器のお手入れは、市販の棒たわしでこまめに便器内面の汚れを洗い落とすようにしてください。
- 便器の洗浄に次のような薬品や洗浄剤は使用しないでください。

（例）塩酸・シンナー類・ベンジン・殺虫剤・タイル洗い等



⚠注意

必ず守る

洗浄水の出が悪くなったときは、リム面下部によごれが付着している可能性がありますので、こまめに清掃してください。

- そのまま使用しますと水もれの原因になります。

他の原因としてストレーナーの掃除をしてください。（25ページ参照）

洗浄便座のお手入れ

- クレンザーや研磨剤の入っている洗剤は、洗浄便座本体や便座、便ブタを傷つけますので使用しないでください。
- 酸性やアルカリ性の洗剤は、洗浄便座内の金属部分を腐食させるおそれがあるので使用しないでください。
- 柔らかい布で水ふきし、よくしぼった布でふきとってください。汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませてふきとり、その後、水ふきし、最後によくしぼった布でふきとってください。

⚠警告

禁　止

本体や電源プラグに水をかけない。

- 感電や火災の原因になります。

便座、便ブタのお手入れ

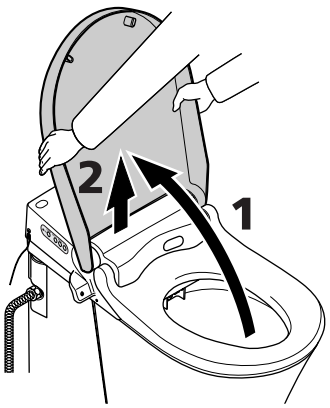
- 柔らかい布で水ふきし、よくしぼった布でふきとってください。
- 汚れが目立つときは、以下の方法にしたがい中性洗剤で洗ってください。

※便座・便ブタのお手入れ時は、自動便蓋開閉 は、OFFにしてください。

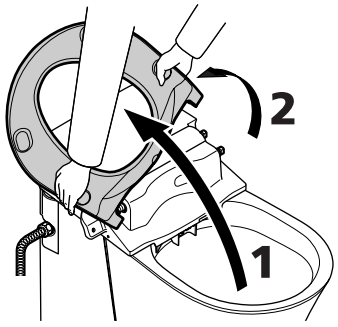
1 便ブタを取りはずす

1 便ブタを垂直まで開き

2 上方へ引き抜く



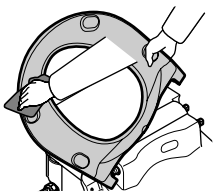
❷ 便座を取りはずす



1 便座を垂直まで開き

2 左上方へ引き抜く
※左側は、はずれません。

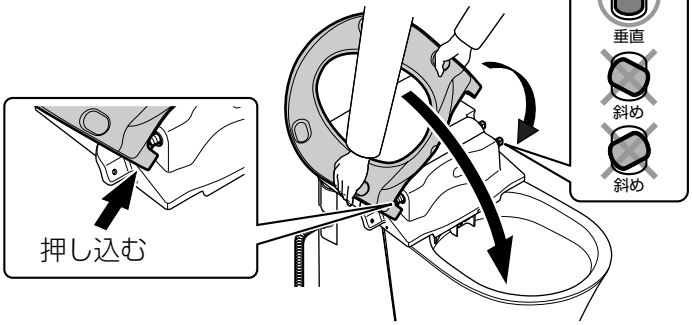
❸ 便座・便ブタを洗剤でお手入れする



1 柔らかいスポンジに中性洗剤を付けてふく

2 ふいた後は、よくしぼった布でふきとる

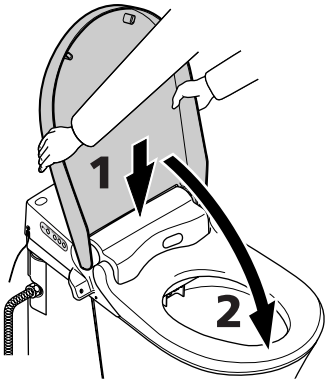
❹ 便座を取り付ける



1 リモコンの 便座 と 自動便蓋開閉 のスイッチを
同時に押して、軸合せを行う

2 垂直に立てた状態で、確実に差し込む

❺ 便ブタを取り付ける



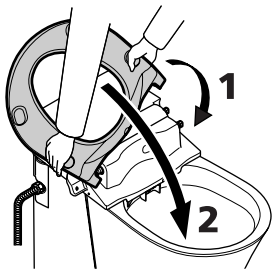
1 便ブタを垂直に立てた状態で、確実に差し込む

2 便ブタを倒す

うまく取り付かないときは

便座

1 リモコンの 便座 と 自動便蓋開閉 のスイッチを
同時に押して、軸合せを行う

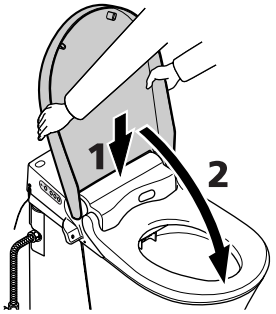


2 便座を差し込みながらゆっくりと閉める

便ブタ

1 便ブタを差し込みながら

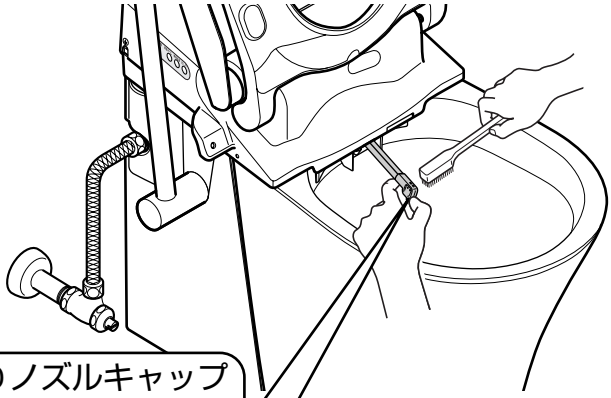
2 ゆっくりと開閉を繰り返す



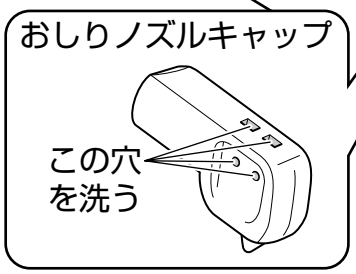
お手入れのしかた つづき

洗浄ノズルのお手入れ

リモコンの 手動ノズル洗浄 をスイッチを押すと、ノズルのまわりから約4.5秒洗浄水が出ます。

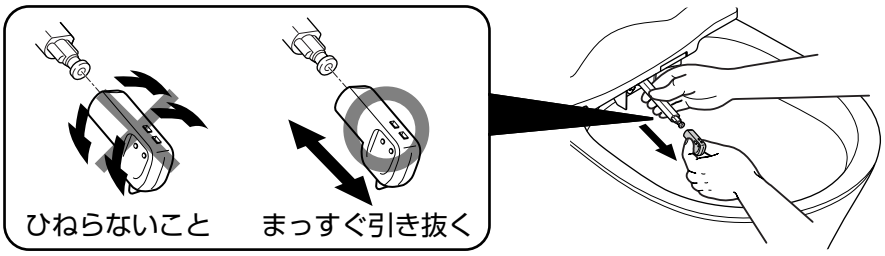


- ノズルを手で引き出してパイプ部をしっかりと持ち、ノズル、パイプ部の汚れを洗い落とします。
- 引っ張りすぎたり、無理に押し込むと水がふき出してくるので、注意してください。



おしり洗浄ノズル、ビデ洗浄ノズルの目づまりはノズルをまっすぐに引き抜いて水洗いする。

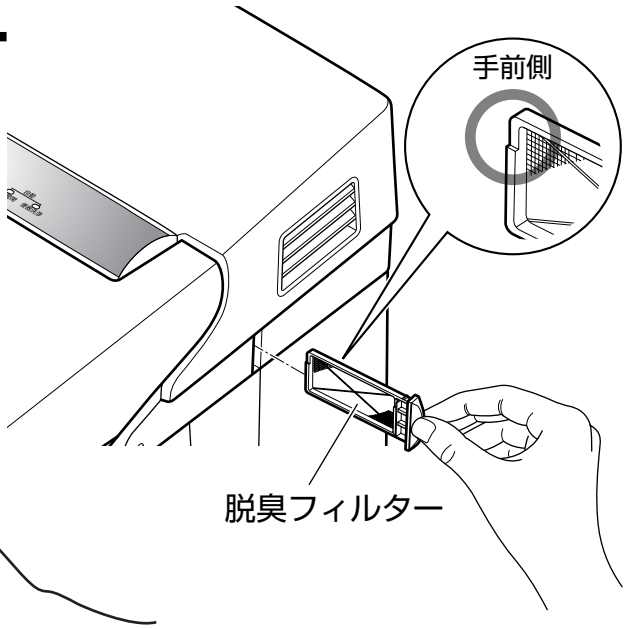
※おしり洗浄ノズルの空気穴も目づまりしないように水洗いしてください。



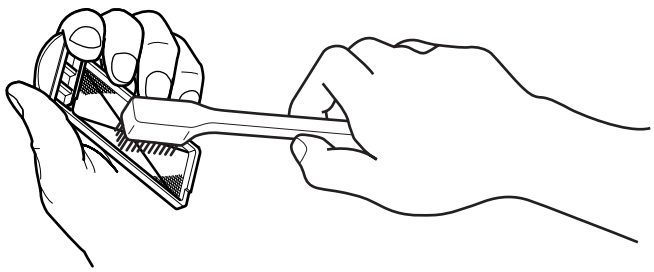
脱臭フィルターのお手入れ・・・1ヶ月に一度

- 脱臭フィルターがつまると、適正な性能が得られなくなります。
  効果が弱くなったり、脱臭音が大きくなったときは、脱臭フィルターのお手入れをしてください。

① つまみを持って引き出す

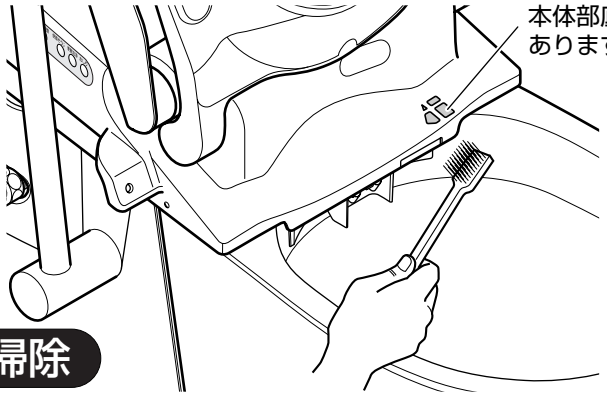


② 歯ブラシ等でほこりを取り除き、元に戻す



脱臭吸込口のお手入れ・・・1ヶ月に1度

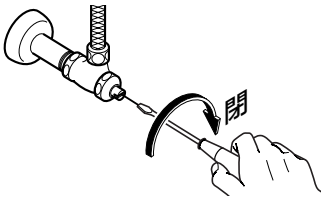
- 脱臭吸込口がつまると適正な性能が得られなくなります。
  効果が弱くなったり、脱臭音が大きくなったときは脱臭吸込口のお手入れをしてください。
- 乾いた歯ブラシ等で綿ボコリやペーパークズ等を取り除いてください。



ストレーナ(ゴミ取りフィルター)の掃除

- ストレーナに水アカやゴミ等がつまると適正な性能が得られなくなります。洗浄水の出が悪くなったときは、ストレーナの掃除をしてください。

1 止水栓を閉める



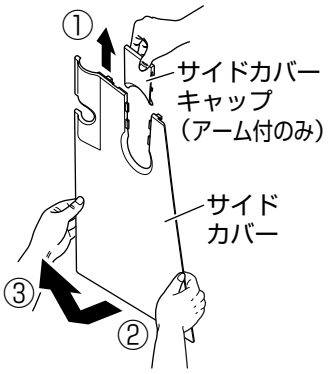
2 サイドカバーキャップ、サイドカバーをはずす

①サイドカバーキャップを持ち、上方にはずす

②サイドカバー下部を持って、マジックテープをはずす

③少し持ち上げて横に引きぬく

（アーム付の場合は、アームをはね上げた状態で行ってください。）



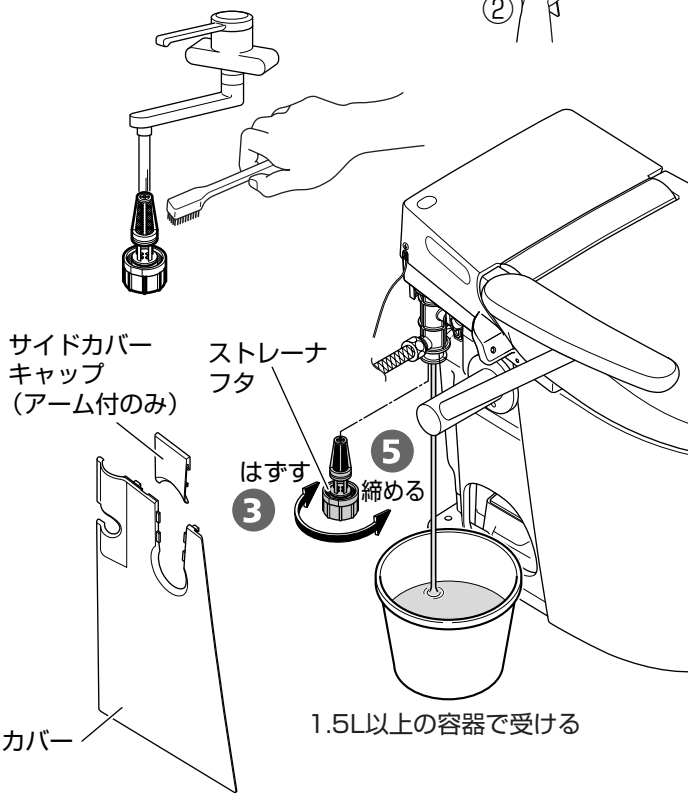
3 ストレーナフタをはずす

ストレーナフタの取りはずしの際に指のはさみこみにご注意ください

4 ストレーナを取り出しブラシ等を使いきれいに水洗いする

5 ストレーナフタを元通りにしっかり締め付ける

ストレーナフタの締めつけの際に指のはさみこみにご注意ください



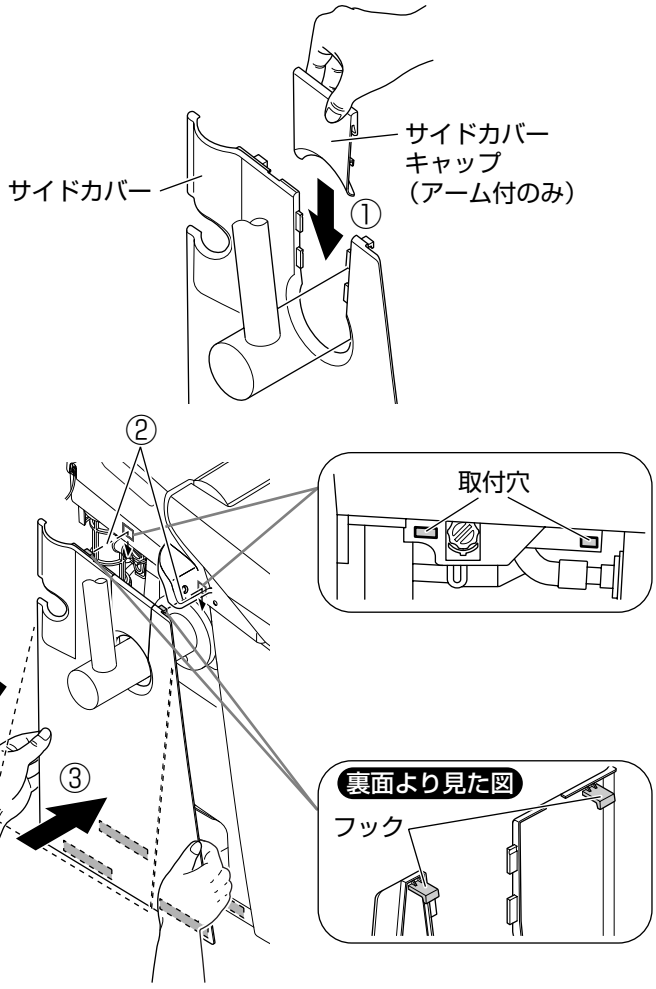
お手入れのしかた つづき

6 サイドカバーキャップ、サイドカバーを元通り取り付ける

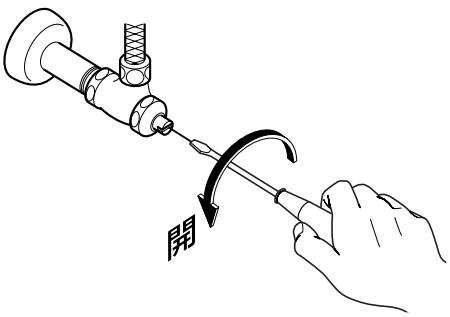
①アーム付の場合、アームをはね上げた状態にし、サイドカバーをアームに通し、サイドカバーキャップを上方から差し込み取り付ける

②サイドカバーを持ち、フックを本体の取付穴に差し込む

③下方に引き下げ取り付ける

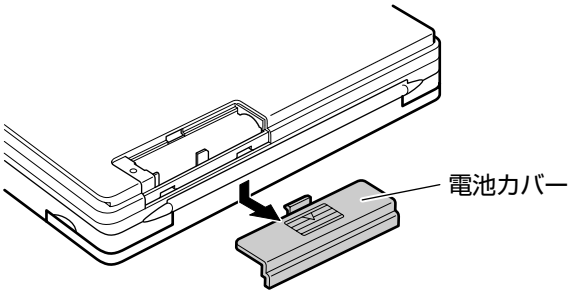


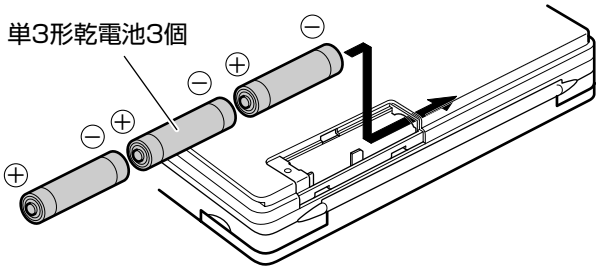
7 止水栓を開け水もれがないことを確認してください



リモコンの電池の取替え

●新しい電池との取替えの場合は。3本とも新しい単三電池（3本）に取替えください。





ご注意

- 新旧、異種の電池は使用しないでください。
- ㊉ ㊀を間違えないようにしてください。
- 電池寿命は約1年です。

故障かな？と思ったとき

●修理を依頼される前に下記をお読みください。

※本体の6時間切ランプ、9時間切ランプ点灯中は、おしり洗浄等の機能が使用できません。詳しくは15ページをご覧ください。
※下記の処置をしても、なおらないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

現　　状	原　　因	処　　置
おしり・ビデの洗浄水が出ない。	●洗浄便座内部の凍結、給水ホースの凍結。	●トイレルーム内を暖房する。（2時間位）そのまま運転を続けると故障となります。（19ページ参照）
	●連続使用（2分以上）により、タイマーが働いてストップした。	●再度 おしり 又は、ビデ を押す。
	●止水栓が閉まっている。	●止水栓を開く。
	●ノズルの詰まり。	●掃除をする（25ページ参照）
	●衣服などでリモコン受光部がおおわれている。	●おおいをとる。
	●本体の初期給水が実施されていない。 ※本体の表示部、電源ランプが点滅していませんか？	●おしりボタンを押す。（初期給水をする。）（10ページ参照）
おしり・ビデの洗浄水勢が弱い。	●水道水圧が低い。	●水勢「高」で使用する。
	●水勢が「低」になっている。	●水勢「高」で使用する。
	●止水栓が完全に開いていない。	●止水栓を開く。
	●ストレーナの詰まり。	●ストレーナを掃除する。（26ページ参照）
	●ノズルの詰まり。	●掃除をする。（25ページ参照）
おしり・ビデの洗浄水が暖かくない。	●温水温度調節が「切」または「低」になっている。	● 好みの温度に調節する。
	●長時間洗浄した。	● 止 を押し、約7分お待ちください。
	●節電運転になっている。	●座ってから1～2分で、設定温度まで戻ります。
脱臭が作動しない。	●脱臭予約していない。	● 便座 と パワー脱臭 を同時に約2秒間押す。
脱臭が効かなくなった。 脱臭がうるさくなった。	●ほこりなどで目づまりしている。	●脱臭フィルターを掃除する。（25ページ参照） ●脱臭吸込口を掃除する。（26ページ参照）
暖房便座が暖かくない。	●便座温度調節が「切」または「低」になっている。	●好みの温度に調節する。約12分で設定温度になります。
	●節電運転になっている。	●座ってから1～2分で、設定温度まで戻ります。
	●電源オートオフが設定されている。	●電源オートオフを解除してください。
温風が出ない。（CH4681、CH4682のみ）	●連続使用（2分以上）になり、タイマーが働いてストップした。	●再度 乾燥 を押す。
ブザーが鳴り続けて止まらない。	●漏電	●電源プラグを抜いて再度差し込んでください。それでもブザーが止まらない場合は、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。
水道音が大きい。	●水道水圧が高い。	●止水栓を絞る。

故障かな？と思ったとき つづき

現　　状	原　　因	処　　置
洗浄シャワーが強すぎる。	――――――	●同梱のおしり用ソフトノズルに交換する。
電源ランプが点滅している。	●温水タンクに給水されていない。 ●洗浄便座内部の凍結、給水ホースの凍結。	●温水タンクに給水する。(10ページ参照) ●トイレルーム内を暖房する。(2時間位）そのまま運転を続けると故障となります。(19ページ参照)
6時間切ランプが点滅している。	●停電があった。 ●電源プラグを1度コンセントから抜いた。	●便座 温水 を同時に1～2秒押す。 リセット(2秒同時押し)（9ページ参照）
リモコンが作動しない。	●リモコン受信部が衣服などでふさがれている。 ●リモコンの上方に棚などの障害物がある。 ●リモコンの電池切れ。 ●電池の⊕⊖が逆になっている。 ●表示切替スイッチが現在時刻に合っていない。	●衣服などを取り除いてください。 ●障害物を取り除いてください。 ●新しい電池を交換してください。 ●正しく入れてください。 ●表示切替スイッチを現在時刻に合せる。
部屋暖房していないのに作動した。(CH4681のみ)	●室内が4℃以下になった。	●冷え込み防止機能が作動した。（約6℃になると自動停止します。）
部屋暖房が作動しない。（CH4681のみ）	●温水タンクヒーターが作動している。 ●室温が設定温度より高い。 ●乾燥運転をしている。	●温水タンク内の水が沸き上がるまで約1～10分間お待ちください。 ●設定が「低」の場合は「高」にしてください。 ● 止 ■ を押す。
自動便器洗浄ができない。	●予約をしていない。	● 自動便器洗浄 スイッチを押し、予約をする。
表示部の便器洗浄ランプが点滅している。	●便器洗浄ブロックの故障。 ●停電用コネクタが抜けている。	●再度大または小洗浄してください。 ●停電用コネクタを挿入してください。（22ページ参照）
便器の洗浄水が流れない。	●止水栓が閉じている。 ●停電中または断水中。 ●ストレーナがつまっている。	●止水栓を開ける。 ●「停電時または断水時の便器洗浄のしかた」を行ってください。(21ページ参照) ●ストレーナの掃除をしてください。（26ページ参照）
便器の洗浄水が止まらない。	●給水弁の故障。	●至急止水栓を閉じて施工業者へお問い合わせください。
便器洗浄面の溜め水が少ない。	●止水栓の絞りすぎ。 ●ストレーナがつまっている。 ●給水圧が低い。	●止水栓を開く。 ●ストレーナの掃除してください。（26ページ参照） ● 水量調整 を押し、増モードにしてください。
便ブタの裏が結露している。	●凍結防止ヒーター使用時に6時間切、9時間切、電源オートオフが動作している。	● 分 (6/9時間OFF (2秒押し)) 、 時 (節電/電源オートOFF (2秒押し)) スイッチをOFFにしてください。(19ページ参照)
表示部の便蓋開閉ランプが点滅している。	●給水されていない。	●止水栓を開ける。
停電用ハンドル操作が固くてまわらない。	●停電用コネクタが抜かれていない。	●停電用コネクタを抜く。(21 ページ参照)

定格・仕様

品番	一般地仕様	寒冷地仕様	一般地仕様	寒冷地仕様	一般地仕様	寒冷地仕様
	CH4681□□□ CH4681□M□□	CH4681□□□7 CH4681□M□□7	CH4682□□□ CH4682□M□□	CH4682□□□7 CH4682□M□□7	CH4683T□□ CH4683□M□□	CH4683□□□7 CH4683□M□□7
電源	AC100V 50/60Hz					
最大消費電力	590W	626W (凍結防止ヒーターを含む)	590W	626W (凍結防止ヒーターを含む)	565W	601W (凍結防止ヒーターを含む)
電源・コード長さ	1.0m					
洗浄装置 温水タンク	貯湯式　1.4L					
洗浄装置 温水温度	4段階調節（水温～約40℃）					
洗浄装置 吐出量 おしり	3段階調節（0.6L～0.9L／分）リズム洗浄時（最大0.8L／分）					
洗浄装置 吐出量 ビデ	3段階調節（0.7L～1.0L／分）					
洗浄装置 シャワー方式 おしり	水圧伸縮式　気泡入りスウィングシャワー					
洗浄装置 シャワー方式 ビデ	水圧伸縮式　10穴ソフトシャワー					
洗浄装置 温水ヒーター	500W					
洗浄装置 保護装置	サーモスイッチ、温度ヒューズ、フロートスイッチ 凍結防止（水温約10℃以下で作動）					
乾燥装置 風量	0.3m³／分（ターボ乾燥時、約0.35m³／分）					
乾燥装置 風温	3段階調節（約45℃～約60℃）					
乾燥装置 乾燥ヒーター	220W（ターボ乾燥時、310W）					
乾燥装置 保護装置	バイメタルスイッチ、温度ヒューズ					
脱臭 脱臭剤	W触媒脱臭ハニカム					
脱臭 風量	0.1m³／分（パワー脱臭0.15m²／分）					
脱臭 消費電力	3W（パワー脱臭5W）					
暖房便座 表面温度	4段階調節（室温～約40℃）					
暖房便座 便座ヒーター	53W					
暖房便座 保護装置	温度ヒューズ					
暖房便座 閉止機構	電動開閉機構					
暖房便座 便座サイズ	エロンゲート（大型）					
部屋暖房 暖房ヒーター	セラミックヒーター 約340W （室温10℃のとき）					
部屋暖房 風量	0.27m³／分					
部屋暖房 暖房温度	2段階(高・低)調節					
部屋暖房 保護装置	バイメタルスイッチ 温度ヒューズ					
部屋暖房 冷え込み防止	室温が約4℃以下になると 自動的に作動。 約6℃になると自動停止。					
便器 洗浄方法	ターントラップ方式					
便器 洗浄水量	大　約6.0L／小　約4.5L					
便器 消費電力	12W					
便器 凍結防止ヒーター	AC100V 50/60Hz 36W（電源コード 有効長1.0m）［寒冷地仕様のみ］					
便器 保護装置	バイメタルスイッチ、温度ヒューズ［寒冷地仕様のみ］					
リモコン	ワイヤレスリモコン（単三乾電池3個）					
使用水道圧範囲	69～735kPa　{0.7～7.5kg f/cm²}　※					
保護装置	漏電検知遮断回路内蔵、着座センサ付					
給水温度範囲	0～35℃					
周囲使用温度範囲	0～40℃					
寸法　巾×奥行×高さ	アームなし　406×710×550			アーム付　656×710×646		
製品質量（重量）	約35kg			約40kg		

※水道圧が98kPa {1.0kg f/cm²} 以下では、おしり・ビデ洗浄の洗浄水量が少なくなる場合があります。

保証とアフターサービスについて（よくお読みください）

このシャワレインには保証書を別途添付しております。

保証書について

保証書は販売店でお渡しいたしますから、必ず「販売店名、購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容などをよくお読みいただき、大切に保管してください。

●保証期間はお買い上げの日より電気部品1年、その他2年、ただし消耗品（パッキン類）は除きます。

修理を依頼されるとき

サービスをご依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、再度28～29ページの項目をご確認の上、なお異常がある場合はお買い上げの販売店へご依頼ください。

その際には、便ブタの品番を確認してください。（アルファベット、数字あわせて9～11桁です。）

●保証期間中は

お買い上げの販売店にご相談ください。保証書の記載内容により販売店が修理をさせていただきます。その他詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間を過ぎているときは

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって商品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。（有料修理の場合の料金基準は、技術料＋部品代＋出張料となります。）

●販売店にご依頼になれない場合は

お近くの松下電工お客様ご相談窓口にご連絡ください。

補修用性能部品の最低保有期間

弊社はこのシャワレインの補修用性能部品を製造打切後、最低7年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについてご不明な点は

お買い上げの販売店又はお近くの松下電工お客様ご相談窓口にお問い合せください。

松下電工お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へお申し付けてください。
・転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、下記窓口へ

修理のご相談
「修理ご相談センター」

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-081-365（ハイ 365日）
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
【365日／受付9時～20時】
ただし、携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。

大阪 ☎ 06-6906-1090 〒571-8686 大阪府門真市門真1048 松下電工テクノサービス（株）
札幌 ☎ 011-261-6401 (転) 名古屋 ☎ 052-551-7900 (転)
東京 ☎ 03-5392-7190 (転) 福岡 ☎ 092-622-0531 (転)

使いかた・お買い物などのご相談
「ナショナル パナソニック お客様ご相談センター」

フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）
【365日／受付9時～20時】
ただし、携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。

☎ 06-6907-1187
FAX フリーダイヤル 0120-878-236

消耗品・交換部品のご購入
「ハイ・パーツショップ」

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-081-802（ハイ パーツ）
ホームページ http://www.sumu2.com/shop/parts/
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
【受付時間: 月～金 9:00～19:00 土・日・祝 9:00～17:00】
ただし、携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。

○東日本 ハイ・パーツショップ ☎ 03-5392-7189
○西日本 ハイ・パーツショップ ☎ 06-6906-1224

ご注意 電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

(転)印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は弊社負担です。

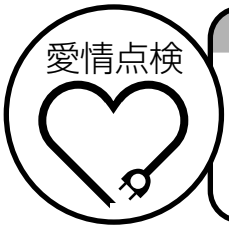
ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

松下電工株式会社および松下グループ関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。

1.当社は、お客様の個人情報を当社商品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。

2.当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。

3.お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。



半年に1回次のようなことを点検してください。

●電源コードを動かしたときに電気が入ったり、切れたりしませんか。
●本体・プラグ・電源コードや便座コードがさわれないほど熱くなっていませんか。
●コードにキズはありませんか。
●異常な臭い（焦げるような）や音が出ていませんか。
●触ると電気（ビリビリ）を感じることはありませんか。
●プラグ刃のガタツキがありませんか。

長年ご使用の電気器具の点検を!!

※点検時にはプラグ・プラグの刃の汚れを落としてください。
※異常があれば故障や事故防止のため販売店にご相談ください。

お買上げ店名	購入年月日	品　番
	年　月	

見本

松下電工株式会社　ドレッシング事業部
〔〒571-8686〕大阪府門真市大字門真1048